

教授要綱 シラバス

平成31年 3月 3日

No.1

授業科目名	心理学	講義 実技 演習	担当教員	日本女子大学 心理学科 学術研究員 大熊 加奈子	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	水 曜日 15回 30時間		単位		
時限	3限 13:10~14:50		2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

心理学は人の行動・感情・認知などを明らかにする学問であり、その研究領域は多種多様に分かれている。本講義では、心理学の一般的な枠組みを学び、基礎知識を習得すると共に、歯科医療現場において有用なコミュニケーションスキルを身につけることを目標とする。

授業計画・内容 (進度・予定)

	授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目	ガイダンス 心理学の歴史、知覚心理学	教科書 第5章, 第1章
2回目	学習心理学: 条件づけ、記憶のメカニズム	教科書 第2章
3回目	動機づけと情動①: 動機づけの種類	教科書 第3章
4回目	動機づけと情動②: 基本的情動, ストレス	教科書 第4章
5回目	人格心理学: パーソリティ、心理アセスメント	教科書 第5章
6回目	臨床心理学①: 精神疾患と心理療法	教科書 第12章
7回目	知能: 知能の測定方法, 認知症	教科書 第6章
8回目	比較心理学: 問題解決, 認知錯誤	教科書 第7章
9回目	発達心理学①: 乳児期~児童期, 発達障害	教科書 第8章
10回目	発達心理学②: 青年期~高齢期	教科書 第9章
11回目	社会心理学①: 対人認知	教科書 第10章
12回目	社会心理学②: 集団心理	教科書 第11章
13回目	臨床心理学②: 歯科医療における心理学	教科書 第13章, 第14章
14回目	歯科医療現場で必要なコミュニケーションスキル	教科書 第13章, 第14章
15回目	総括 および 試験	教科書 第1~15章

評価方法

出席状況 および 学習意欲(授業時の発言, 実習への積極的参加など)と、本試験によって総合的に評価

教科書

最新 歯科衛生士教本 心理学 全国歯科衛生士教育協議会編集

副読本・資料

授業内容に応じたレジュメを毎回配布する

その他

授業で扱う教科書の該当ページを事前に読んでおくこと

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.2

授業科目名	倫理学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学名誉教授 関根透		
授業コード	連絡先					
分類						必修・選択必修
学年						1年・2年
学期						前期・後期
曜日・回数						月曜日 15回 30時間
時限	4限 15:00~16:40	2単位	単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

西洋の倫理思想の流れを中心に時代に即応した倫理的な考え方を紹介し、先人の叡智から現代の歯科医療人としての基本的な倫理観を模索する。その上で、専門職者として社会に貢献できる振る舞いを身に付けてもらう。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	オリエンテーションと倫理の意味と意義	
2回目	古代ギリシャ時代の倫理思想(1)	
3回目	古代ギリシャ時代の倫理思想(2)	
4回目	古代ギリシャ時代の倫理思想(3)	
5回目	古代ローマ時代の倫理思想とキリスト教の倫理思想	
6回目	イタリアルネサンスの倫理思想	
7回目	北方ルネサンスの倫理思想と宗教改革の倫理思想	
8回目	イギリス経験論の倫理思想と大陸合理論の倫理思想	
9回目	フランス啓蒙思想の倫理観とドイツ観念論の倫理思想	
10回目	現代西欧の倫理思想	
11回目	実存主義の倫理思想(1)	
12回目	実存主義の倫理思想(2)	
13回目	現代日本の倫理観と世界の倫理観	
14回目	現代日本の医療倫理の状況	
15回目	まとめとシケン	

評価方法

出席、学習態度レポート、時々行う小テスト、本試験の結果により総合的に判断する。

教科書	1~15までの配布プリント
副読本・資料	必要に応じて適宜資料を配布したり、スライドに資料を写して提示したりする。
その他	最初のオリエンテーションの際に、資料教杖を配布したので、各回に合わせて、各自で予習して臨み、講義後、復習してもらう。

教授要綱 シラバス

平成31年2月24日

No.3

授業科目名	生物	講義 実技 演習	担当教員	ヤシロレディースクリニック院長 林 康子	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 2回	時間	単位		
時限	2限	～	2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

女性のQOL向上を目的に、女性に特有な心身にまつり基本を学ぶ

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	基本的な解剖、生理機能を学ぶ	
2回目	女性特有な疾患を学ぶ	
3回目		
4回目		
5回目		
6回目		
7回目		
8回目		
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目	定期テスト	

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書

なし

副読本・資料

必要に応じ適宜資料を配布する

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.4

授業科目名	生物	講義 実技 演習	担当教員	前 鶴見大学歯学部生物学教室 浅井 純子 担当	
授業コード					
分類	必修・選択必修	連絡先			
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 15回 30時間	単位			
時限	2限 10:50~12:30	2単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

生物の成り立ち、仕組み、働きについて一般的な理解を目指す。

授業計画・内容 (進捗・予定)

	授業計画・内容 (進捗・予定)	備考
1回目	生命とは何か p1~13	
2回目	生命の単位 p15~26	
3回目	細胞のさまざまな活動 p27~35	
4回目	細胞の一生 p36~40	
5回目	個体の成り立ち p40~47	
6回目	生殖 p49~54	
7回目	遺伝と遺伝子① p55~59	
8回目	遺伝と遺伝子② p60~68	
9回目	発生 p69~72	
10回目	環境と動物の反応 p73~83	
11回目	内部環境を保つ仕組み p84~96	
12回目	動物の行動と進化 p97~105	
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

本試験とレポートから判断する。

教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 全国歯科衛生士教育協議会
副読本・資料	必要に応じ、適宜資料を配布する。
その他	事前配布の資料により各自予習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 23 日

No.5

授業科目名	化学	講義 実技 演習	担任教員 相模女子大学高等部講師 村田 千佳子	
授業コード				
分類	必修・選択必修		連絡先	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日 15回 30時間		単位	
時限	1限 9:00~10:40		2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問である。化学の基礎知識を身につけ、医療現場の種々雑多な歯科材料などの物質の特性を理解し、扱うことが出来るようになる。

授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考
1回目	物質の分類と構造	教科書 1章①
2回目	原子の構造	" 1章②~④
3回目	化学結合	" 1章⑤
4回目	原子量と分子量, 物質量	" 1章⑥
5回目	化学反応式	" 5章①
6回目	酸と塩基	" 3章④
7回目	中和反応	" 3章④
8回目	水素イオン濃度とpH	" 3章④
9回目	酸化と還元	" 4章
10回目	有機化合物と無機化合物	" 6章①
11回目	炭化水素	" 6章②④
12回目	アルコール	" 6章⑤④
13回目	アルデヒド・ケトン・カルボン酸	" 6章⑤④
14回目	エステル・油脂	" 6章⑤④
15回目	試験	

評価方法

学期の試験により判断する。

教科書	最新歯科衛生士教本 化学 全国歯科衛生士教育協議会編集
副読本・資料	
その他	

# 教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 27 日

No.6

授業科目名	歯科臨床概論	講義 実技 演習	担当教員	片山歯科医院 院長 片山 繁樹	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火 曜日 15回 30時間		単位		
時限	3 限 13:10~14:50		4単位		

- 授業の概要と科目のねらい・到達目標**
1. 歯科医療を担う一員となるための基礎知識を理解してもらう。
  2. 歯科医学・歯科臨床への入門であると共に、歯科診療の流れを紹介し、その中での歯科衛生士の役割を自覚してもらう。
  3. 歯科診療所の紹介と訪れる人とその理由を理解してもらう。      4. 歯科診療所での日常を理解してもらう。
  5. 歯科臨床の専門分野を理解してもらう。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考
1回目	歯科診療とは(歯科臨床の場・歯科衛生士とは・歯科衛生士法)	I編 1章
2回目	歯科診療所(歯科診療所のスタッフ・歯科診療所の紹介・歯科医療の変化)	I編 2章
3回目	歯科臨床とはⅠ(医療安全管理・医療法・インフォームドコンセント)	I編 2章
4回目	歯科臨床とはⅡ(歯科診療の特徴・医療に関する法律・歯科チーム医療)	I編 3章
5回目	歯科臨床とはⅢ(歯科診療所における業務・歯科衛生業務)	I編 3章
6回目	歯科診療の流れ(ライフステージと歯科診療<<の分野>>)	II編 1章
7回目	診査・検査・前処置Ⅰ(バイタルサイン・歯周組織の検査・痛みのコントロール)	II編 2章
8回目	診査・検査・前処置Ⅱ(画像検査・歯科放射線・エックス線の基礎知識)	II編 2章
9回目	歯周治療	II編 2章 歯周治療
10回目	小児歯科・歯科矯正	II編 2章 小児歯科 歯科矯正
11回目	歯科保存・歯内治療	II編 2章 歯科保存
12回目	歯科口腔外科・歯科補綴・インプラント	II編 2章 口腔外科 歯科補綴
13回目	障害者歯科・高齢者歯科	II編 2章 障害者歯科・高齢者歯科
14回目	まとめ(Ⅰ)	
15回目	まとめ(Ⅱ)	

**評価方法**      ・出席・小テスト(30%)、学期末の本試験(70%)により判断する。

**教科書**      「歯科衛生士のための歯科臨床概論」 松井恭平他著 医歯薬出版

**副読本・資料**      レジュメ、プリント等、適宜資料を配布する。

**その他**

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 26 日

No.7

授業科目名	解剖学	講義 実技 演習	担当教員	神奈川大学 医学部 解剖学講座 講師 東 雅啓	印
授業コード					
分類	必修・選択必修	連絡先			
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火 曜日 15回 30時間	単位			
時限	1限 9:00~10:40	2単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人体の形態学的構造を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	解剖学概論	教科書序章
2回目	骨格 1	” Ⅱ編 1章 骨格系
3回目	” 2	” ” ”
4回目	筋肉	” ” 2章 筋と運動
5回目	消化器系 1	” ” 3章 消化・吸収
6回目	” 2	” ” ”
7回目	まとめ	1~6回目のまとめ
8回目	中間試験	1~6回目の範囲
9回目	循環器系 1	教科書Ⅱ編 4章 循環
10回目	” 2	” ” ”
11回目	神経系 1	” ” 5章 神経系
12回目	” 2	” ” ”
13回目	呼吸器系	” ” 6章 呼吸
14回目	唾液腺・まとめ	” Ⅱ編 8章 唾液
15回目	総合試験	全範囲

評価方法

小テスト・レポート・中間試験・総合試験により判断する。

教科書 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 医薬業出版

副読本・資料 口腔顎顔面解剖ノート 宇建書院、配布資料

その他 配布資料により各自予習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 26 日

No.8

授業科目名	組織発生学	講師 実技 演習	担当教員 神谷の歯科大学 口腔科学講座 講師 東 雅啓	Ⓢ
授業コード				
分類	必修・選択必修		連絡先	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火曜日 15回 30時間		単位	
時限	2限 10:50~12:30		2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人体の組織・発生学的構造を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	細胞	教科書I編1章細胞と組織
2回目	組織1	" " "
3回目	" 2	" " "
4回目	発生	" " 2章発生
5回目	エナメル質	" II編3章 歯の発生と機能
6回目	象牙質・まとめ	" " "
7回目	中間試験	1~6回目、範囲
8回目	歯骨髄・セメント質	教科書I編3章 歯の発生と機能
9回目	歯根膜	" " "
10回目	歯槽骨	" " "
11回目	歯肉・口腔粘膜	" " "
12回目	歯と歯周組織の発生	" " 2章歯と歯周組織の発生
13回目	インプラント・加齢変化	配布資料
14回目	まとめ	8~13回目のまとめ
15回目	総合試験	全範囲

評価方法

小テスト・レポート・中間試験・総合試験により判断する。

教科書

最新歯科矯正士教本 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版

副読本・資料

" 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版

その他

配布資料により各自予習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成31年2月26日

No.9

授業科目名	生理学	講義 実技 演習	担当教員	田中歯科医院勤務医 田中 仁一朗	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	月曜日 15回 30時間		単位		
時限	2限 10:40 ~ 12:30		2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

生物として人間、すなわちヒトがどのように生きていくかを理解し、  
歯科衛生士と女子のための学問的基盤をつくること。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目	序論・細胞
2回目	血液
3回目	循環
4回目	呼吸
5回目	骨格筋の収縮
6回目	ニューロンとシナプス
7回目	末梢神経系・中枢神経系
8回目	内分泌
9回目	口交合と咀嚼
10回目	嚥下・嘔吐
11回目	口腔感覚(歯の感覚)
12回目	口腔感覚(口腔粘膜の感覚、味覚)
13回目	唾液および唾液腺
14回目	総復習・まとめ
15回目	試験

評価方法

出席、小テスト、定期試験により判断する。

教科書	3冊あり、別紙に記載します。
副読本・資料	プリント等、適宜資料を配布する。
その他	各自予習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 23 日

No.10

授業科目名	病理学	講義 実技 演習	担当教員	東京医科大学 山下 知彦 助教 高木 貴	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 15回 30時間		単位		
時限	3限 13:10 ~ 14:50		2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

病理学, 口腔病理学の理論と理解

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	病因論 (第2年)	
2回目	病理学的検査 (第3年)	
3回目	炎症性変化 (第4年)	
4回目	増殖性変化 (第5年)	
5回目	癌発生メカニズム (第6年)	
6回目	免疫異常・アレルギー (第7年)	
7回目	口腔病 (第8年)	
8回目	歯と全身異常と臨床病理学 (第9年)	
9回目	口腔癌 (第10年)	
10回目	歯肉の病変 (第11年)	
11回目	歯肉腫瘍の病変 (第12年)	
12回目	口腔粘膜の病変 (第13年)	
13回目	口腔粘膜の病変 (第14年)	
14回目	口腔粘膜の病変 (第14年)	
15回目	口腔粘膜の病変 (第15年)	

評価方法

筆記試験による

教科書	問題いかに解決 病理学	山下 知彦 研究
副読本・資料	各科基礎医学	山下 知彦 研究
その他		

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 28 日

No.11

授業科目名	微生物学	講義 実技 演習	担当教員	長谷川 雅子 教室講師	
授業コード			連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期			
曜日・回数	月 曜日	15 回	30 時間	単位	
時限	1 限	9:00~	10:40	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

疾病の成り立ち、微生物の性状と病原性を説明できる。  
 宿主防御機構と免疫を説明できる。  
 口腔感染症と病原微生物について説明できる旨

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考
1 回目	疾病と微生物
2 回目	微生物の病原性 細菌
3 回目	細菌培養、顕微鏡観察
4 回目	グラム陽性球菌・桿菌
5 回目	グラム陰性球菌・桿菌
6 回目	マイコプラズマ、スロヘータ、リケッチア、クラミジア
7 回目	ウイルス
8 回目	真菌、原虫
9 回目	宿主防御機構と免疫
10 回目	液性免疫 細胞性免疫
11 回目	細胞性免疫、アレルギー
12 回目	口腔感染症
13 回目	化学療法
14 回目	院内感染対策 滅菌と消毒
15 回目	期末試験

評価方法

衛生士国家試験に準ずる期末試験 正答 6割以上

教科書

新歯科衛生士教本 最新微生物学 全国歯科衛生教育協議会 監修 医歯薬出版

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 28 日

No.12

授業科目名	歯科衛生士概論	講義 実技 演習	担当教員	細井 紀雄 共生学園校長	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	金曜日 15回	時間	単位		
時限	2限 10:50~12:30		2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士とは何か、歯科衛生士の歴史、予防の概念を学び、歯科衛生業務、医療倫理、歯科衛生士活動を理解する。日本以外の歯科衛生士活動についても学ぶ。

授業計画・内容 (進捗・予定)

回数	内容	備考
1回目	1章 歯科衛生学とは	4/11(木) 細井担当 4限
2回目	2章 歯科衛生の歴史	4/18(木) "
3回目	3章 歯科衛生のための理論	4/24(水) 鶴本担当 2限
4回目	4章 歯科衛生過程	5/8(水) "
5回目	5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務	5/15(水) "
6回目	6章 歯科衛生士と医療倫理	5/23(木) 関根担当 2限
7回目		5/31(金) 福島担当 2限
8回目	歯の解剖学的観察と歯の彫刻	6/7(金) 永島担当 2限
9回目	"	6/14(金) "
10回目	"	6/21(金) "
11回目	"	6/28(金) "
12回目	7章 歯科衛生士の活動と組織	7/5(金) 浅野担当 2限
13回目	8章 海外における歯科衛生士	7/12(金) "
14回目		7/19(金) 中星担当 2限
15回目	定期試験	

評価方法	試験により判断する
------	-----------

教科書	最新歯科衛生学総論
副読本・資料	
その他	

教授要綱 シラバス

平成31年2月27日

No.13

授業科目名	生化学	講義 実技 演習	担当教員	鹿児島大学歯学部分子生化学 教授 山越 康雄 講任	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	金曜日 14回 30時間	単位			
時限	4限 15:00 ~ 16:40	2単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

生体構成成分の構造及び化学反応を理解し、口腔組織構成成分及び口腔内で起こる生命現象を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考
1回目	有機化学から生体高分子へ(官能基、水、緩衝作用)	
2回目	生体成分(糖)	
3回目	生体成分(タンパク質、脂質)	
4回目	生体成分(核酸、遺伝子)	
5回目	糖質代謝(消化・吸収、エネルギー産生)	
6回目	脂質代謝、タンパク質代謝	
7回目	三大栄養素の代謝まとめ、中間試験	中間試験監督は山越が担当
8回目	口腔生化学(結合組織、コラーゲン)	
9回目	口腔生化学(硬組織の有機成分)	
10回目	口腔生化学(硬組織の無機成分、石灰化機構)	
11回目	口腔生化学(骨のリモデリング、Caの恒常性)	
12回目	口腔生化学(唾液の生化学)	
13回目	口腔生化学(プラークの生化学)	
14回目	口腔生化学(炎症の生化学)	
15回目	本試験	

評価方法

中間試験と本試験の結果平均で60点以上を合格とする

教科書

歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版社)

副読本・資料

その他

授業は板書スタイルなので、ノートをきちんと取ること。

# 教授要綱 シラバス

平成 31 年 4 月 1 日

No.14

授業科目名	口腔解剖学	講義	担当教員	神奈川歯科大学 口腔科講座 非常勤講師 松尾 智子	
授業コード			連絡先		
分類	必修				
学年	1年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	金曜日	30回	60時間	単位	
時限	3限	13:10	~ 14:50	4単位	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

歯科衛生士になるためには正常な顔面・口腔の形態を知らなければなりません。前期は、ヒトの歯のかたちを学びます。歯の形態は、咬合・咀嚼・嚥下のはたらきと密接に関連しています。後期で咬合回復に必要な形態と口腔と顔面の基本的な構造を学びます。顎顔面の基本を構成する骨と筋、それらをコントロールする神経と血管について学びます。

**授業計画・内容 (進捗・予定)**

備考

1 回目	歯の形態と構造(1): 総論 歯の記号	
2 回目	歯の形態と構造(2): 歯の形態と構造	
3 回目	歯の形態と構造(3): 上下顎切歯	
4 回目	歯の形態と構造(4): 上下顎犬歯	
5 回目	歯の形態と構造(5): 前歯部の鑑別 中間試験	
6 回目	歯の形態と構造(6): 上顎小臼歯	
7 回目	歯の形態と構造(7): 下顎小臼歯	
8 回目	歯の形態と構造(8): 上顎大臼歯	
9 回目	歯の形態と構造(9): 下顎大臼歯	
10回目	歯の形態と構造(10): 臼歯部の鑑別	
11回目	歯の形態と構造(11): 乳歯	
12回目	歯の形態と構造(12): 乳歯	
13回目	歯の形態と構造(13): 歯の特別な構造	
14回目	歯の形態と構造(14): 歯列と咬合	
15回目	前期定期試験	

**評価方法**

中間試験・本試験・提出物

**教科書**

最新歯科衛生士教本: 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)  
口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)

**副読本・資料**

**その他**

教授要綱 シラバス

平成 31 年 4月 1日

No.14

授業科目名	口腔解剖学	講義	神奈川歯科大学 口腔科学講座 非常勤講師 松尾 智子	連絡先 
授業コード				
分類	必修			
学年	1年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	金曜日 30回 60時間	単位		
時限	3限 13:10 ~ 14:50	4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士になるためには正常な顔面・口腔の形態を知らなければなりません。前期は、ヒトの歯のかたちを学びます。歯の形態は、咬合・咀嚼・嚥下のはたらきと密接に関連しています。後期で咬合回復に必要な形態と口腔と顔面の基本的な構造を学びます。顎顔面の基本を構成する骨と筋、それらをコントロールする神経と血管について学びます。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	口腔の形態と構造(1):総論	
2回目	口腔の形態と構造(2):顎顔面の骨(1)	
3回目	口腔の形態と構造(3):顎顔面の骨(2)	
4回目	口腔の形態と構造(4):頭頸部の筋(1)	
5回目	口腔の形態と構造(5):頭頸部の筋(2)	
6回目	口腔の形態と構造(6):顎関節と下顎運動	
7回目	口腔の形態と構造(7):顎顔面の動脈(1)	
8回目	口腔の形態と構造(8):顎顔面の動脈(2)	
9回目	口腔の形態と構造(9):顎顔面の静脈	
10回目	口腔の形態と構造(10):顎顔面のリンパ	
11回目	口腔の形態と構造(11):顎顔面の神経(1)	
12回目	口腔の形態と構造(12):顎顔面の神経(2)	
13回目	口腔の形態と構造(13):顎顔面の神経(3)	
14回目	口腔の形態と構造(14):顎顔面の神経(4)	
15回目	後期定期試験	

評価方法 中間試験・本試験・提出物

教科書

最新歯科衛生士教本:口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)  
口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 23 日

No.15

授業科目名	口腔衛生学	講義 実技 演習	担当教員	鴨志田 義功 鴨志田 義功	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	月・水曜日	30回	60時間	単位	
時限	3.1限	13:10 9:00	~ 14:50 10:40	4単位	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 現在の我が国は超高齢社会を迎えている。この状況において歯科保健活動のあり方もこれまで以上に変化をしていくことが求められていると言わざるを得ない。今後、歯科衛生士の役割がますます重要となり、社会の期待も大きくなるものと思われる。その領域の中で、中心的な位置を占める口腔衛生学ついて、しっかりした知識を身につけ、かつ、今後の変化に対応できる思考方法や価値観を身につけることが、授業の目標と考えている。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目 総論、口腔衛生学の意義	
2回目 口腔と健康	
3回目 歯・口腔の発育と変化	
4回目 口腔環境	
5回目 歯・口腔の不潔	
6回目 口腔清掃	
7回目 口腔清掃器具	
8回目 歯磨剤	
9回目 洗口剤・ブラッシング	
10回目 う蝕の予防 基礎知識①	
11回目 基礎知識②	
12回目 予防方法 う蝕予防①	
13回目 う蝕予防② フッ化物を用いた予防	
14回目 歯周病の予防① 基礎知識	
15回目 歯周病の予防②	

**評価方法**  
 学則の試験規定を原則的に評価する  
 一方で、出席、学習意欲、レポート等により総合的に判断する。

教科書	学建書院 口腔衛生学
副読本・資料	必要に応じて、資料を配布する。
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 23 日

No.15

授業科目名

口腔衛生学

講義  
実技  
演習

担当教員

鴨志田 義功 院長  
鴨志田 義功



16 回目	不正咬合, 口臭の予防	
17 回目	その他の歯科疾患・異常の予防	
18 回目	地域歯科保健活動 ①	
19 回目	地域歯科保健活動 ②	
20 回目	地域歯科保健のあり方 8020運動	
21 回目	〃 〃 〃 ② 健康日本21, 健康増進法	
22 回目	母子歯科保健① 意義	
23 回目	〃 〃 〃 ② 1ヶ月児, 3ヶ月児 健診	
24 回目	学校歯科保健① 意義と領域	
25 回目	〃 〃 〃 ② 歯科健診	
26 回目	産業歯科保健① 概念, 職業性疾患	
27 回目	〃 〃 〃 ② 産業歯科保健活動	
28 回目	成人・高齢者・要介護者・障がい者 歯科保健①	
29 回目	〃 〃 〃 〃 〃 ②	
30 回目	災害時の歯科保健, 国際歯科保健	
31 回目		
32 回目		
33 回目		
34 回目		
35 回目		
36 回目		
37 回目		
38 回目		
39 回目		
40 回目		
41 回目		
42 回目		
43 回目		
44 回目		
45 回目		

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.16

授業科目名	英語	講師 実技 演習	担当教員	鶴見大学文学部非常勤講師 内田 愛	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	金 曜日 30回 60時間	単位			
時限	1, 2限 9:00 ~ 10:40 10:50 ~ 12:30	4単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

基礎的+英語力を身につけると同時に、現場で使える英語表現を学ぶ。これ、卒業後+必要に応じて独学できるように、その方法も学ぶ。

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	初イン-ション おび基礎英語力チェック	プリント使用
2回目	テキスト Part 1 ①-1	
3回目	テキスト Part 1 ①-2	
4回目	小テスト (テキスト Part 1 ①) 20点	( )内はテスト範囲
5回目	テキスト Part 1 ②-1	
6回目	テキスト Part 1 ②-2	
7回目	小テスト (テキスト Part 1 ②) 20点	( )内はテスト範囲
8回目	テキスト Part 1 ③-1	
9回目	テキスト Part 1 ③-2	
10回目	小テスト (テキスト Part 1 ③) 20点	( )内はテスト範囲
11回目	テキスト Part 1 ④	
12回目	小テスト (テキスト Part 1 ④) 20点	( )内はテスト範囲
13回目	テキスト Part 1 ⑤-1	
14回目	テキスト Part 1 ⑤-2	
15回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑤) 20点	( )内はテスト範囲

評価方法

前期5回 (各20点) の小テスト計100点で判断する。  
後期5回 (各20点) の小テスト計100点で判断する。

教科書

最新産科英語 医歯薬出版

副読本・資料

プリントを必要に応じて配布する。

その他

授業終了時に指示された各所を各自予習をして臨むこと。また、授業内で学んだことをしっかりと復習に覚えようとする。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.16

授業科目名

英語

講義  
実技  
演習

担当教員

鶴岡大学文学部非常勤講師

内田 愛



16 回目	オリエンテーションおよび英語力アップ	プリント使用
17 回目	テキスト Part 1 ⑥ - 1	
18 回目	テキスト Part 1 ⑥ - 2	
19 回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑥) 20点	( )内はテスト範囲
20 回目	テキスト Part 1 ⑦	
21 回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑦) 20点	( )内はテスト範囲
22 回目	テキスト Part 1 ⑨ - 1	
23 回目	テキスト Part 1 ⑨ - 2	
24 回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑨) 20点	( )内はテスト範囲
25 回目	テキスト Part 1 ⑬ - 1	
26 回目	テキスト Part 1 ⑬ - 2	
27 回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑬) 20点	( )内はテスト範囲
28 回目	テキスト Part 1 ⑭ - 1	
29 回目	テキスト Part 1 ⑭ - 2	
30 回目	小テスト (テキスト Part 1 ⑭) 20点	( )内はテスト範囲
31 回目		
32 回目		
33 回目		
34 回目		
35 回目		
36 回目		
37 回目		
38 回目		
39 回目		
40 回目		
41 回目		
42 回目		
43 回目		
44 回目		
45 回目		

教授要綱 シラバス  
平成 31年 2月 23日

No.17

授業科目名	栄養指導	講義 実技 演習	担当教員	東京女子医科大学腎臓小児科 (管理栄養士) 濱谷亮子	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	水曜日 15回	時間	単位		
時限	2限 10:50 ~12:30		4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科保健指導や歯科衛生教育を適切に行うために、人が生命を維持するために必要な栄養ならびに食生活について理解することが不可欠である。本科目では栄養と食生活に関する基本的知識を習得する。  
【到達目標】1)健康の維持増進に必要な栄養素の種類や役割を説明できる。  
2)食事摂取基準の概念、各指標の意味を説明できる  
3)五大栄養素ならびに水の生体での役割を説明できる。  
4)食品の成分や物性とその働きを説明できる。  
5)食生活と健康に関する我が国の施策やガイドラインを概説できる。

		備考
1回目	健康の維持増進のための栄養(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)	
2回目	現代食生活の問題点(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)	
3回目	栄養素の消化・吸収(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)	
4回目	日本人の食事摂取基準(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)	
5回目	基礎代謝・推定エネルギー必要量の算出方法(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)	
6回目	三大栄養素のエネルギー摂取比率(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)	
7回目	栄養素の働き1 三大栄養素(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)	
8回目	栄養素の働き2 ビタミン・ミネラル・水(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)	
9回目	国民の健康づくりにおける政策(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)	
10回目	ライフステージ別栄養と食生活(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)	
11回目	ライフステージ別栄養と食生活2(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)	
12回目	食品の機能性と物性(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)	
13回目	食品成分表の活用(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)	
14回目	健康づくりのための食事計画の進め方(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)	
15回目	まとめと考査	

評価方法

学期ごとの本試験(期末試験)により評価する

教科書

最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修

副読本・資料

新ビジュアル食品成分表―「日本食品標準成分表2015」準拠(大修館書店)

その他

授業終了時に指示された箇所を各自予習し授業に臨むこと。

教授要綱シラバス

平成31年 2月 25日

No.18

授業科目	口腔外科学・歯科麻酔学	担当	鹿児島大学歯学部 口腔外科学 第2講座 教授 浅田 洸一	
授業コード		連絡先		
分類	必修 選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	金曜日 15回 時間	単位		
時限	A 限 15:00~16:40	1単位		
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士に必要な口腔外科学の基礎的知識を修得する。</li> <li>・歯科治療における局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。</li> <li>・歯科治療における全身管理や救急救命処置について理解する。</li> </ul>				
授業計画・内容(進度・予定)			備考(学習目標)	
1	口腔外科の概要	口腔外科の位置づけ、口腔外科疾患の種類と診断について説明できる。		
2	口腔外科領域の先天異常・発育異常	顎顔面領域に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。		
3	口腔外科領域の損傷および機能障害	口腔外科領域の損傷および機能障害の診断と治療法を説明できる。		
4	口腔粘膜の疾患	口腔粘膜の疾患の診断と治療を説明できる。		
5	口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因	口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。		
6	口腔領域の炎症性疾患	口腔領域の炎症性疾患の診断と治療を説明できる。		
7	口腔外科領域の嚢胞性病変	口腔外科領域の嚢胞性病変の診断と治療を説明できる。		
8	口腔外科領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	口腔外科領域の腫瘍および腫瘍類似疾患の診断と治療を説明できる。		
9	唾液腺疾患	唾液腺疾患の診断と治療を説明できる。		
10	口腔領域の神経疾患	口腔領域の神経疾患の診断と治療を説明できる。		
11	抜歯術	抜歯に関連する患者管理、必要な器材の準備と抜歯の手順を説明できる。		
12	口腔外科小手術、止血処置・縫合処置	口腔外科小手術、止血、縫合に必要な器材の準備と処置法を説明できる。		
13	歯科麻酔と患者管理	歯科麻酔に関わる全身状態の評価、バイタルサイン、生体応答のモニタリングについて説明できる。		
14	局所麻酔・精神鎮静法・全身麻酔	局所麻酔・精神鎮静法・全身麻酔の適応とそれらに用いる器材、薬剤について説明できる。		
15	救急蘇生法	歯科治療時の全身的偶発症の症状・原因・治療と一次救命処置について説明できる。		
評価方法	出席、学習態度及び筆記試験などから総合的に判断する。			
教科書	最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 全国歯科衛生士教育協議会 監修			
副読本	必要に応じプリントなどを配布する。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画に示された内容・学習目標を踏まえて、予習をして授業に臨むこと。</li> <li>・授業終了後は学習目標に示された内容について復習すること。</li> </ul>			

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 25 日

No.19

授業科目名	保存修復・歯内療法学	講義 実技 演習	担当教員	中村歯科医院 院長 中村昌人	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 15回 30時間		単位		
時限	1限 9:00～10:40		1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

保存修復学・歯内療法学の概要、基礎から始め、臨床で歯科衛生士として対応できるように、実技・術式などを詳細に解説する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	歯の保存学とは、口腔検査について	
2回目	保存修復学の概要 窩洞と保存修復について	
3回目	診察のステップ、前準備、窩洞形成、歯髄保護	
4回目	コンポジットレジン修復	
5回目	セメント修復	
6回目	間接法修復	
7回目	保存修復における歯科衛生士の役割	
8回目	歯内療法概要	
9回目	歯髄保存療法	
10回目	歯髄除去療法	
11回目	根管治療、根管充填	
12回目	外科的歯内療法	
13回目	歯の外傷	
14回目	歯内療法における安全対策	
15回目	歯内療法における歯科衛生士の役割	

評価方法

出席、学習意欲、試験結果、レポート等で総合的に判断する。

教科書

医歯薬出版 保存修復・歯内療法

副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布する。

その他

授業終了時に指示された箇所を各自学習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 28 日

No.20

授業科目名	小児歯科学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部 小児歯科学 池田 孝雄	
授業コード			連絡先		3
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日 15 回 30 時間		単位		
時限	3 限 13:10 ~ 14:50		1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

小児の成長発育期にみられる歯・歯周組織および顎顔面頭蓋の正常ならびに異常な発育を理解するためにこれらの成長発育過程にみられる正常な発育とこれらを障害する異常や疾患を中心に学習する。さらに小児の口腔疾病の予防と治療に関する口腔疾患の臨床的特徴ならびにその予防法と治療法の基本を理解するために乳歯や幼若永久歯に適応される予防・治療の臨床的特徴を学習する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	小児歯科学概論 心身の発達 小児の生理的特徴	
2 回目	顔面頭蓋の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴1	
3 回目	乳歯・幼若永久歯の特徴2	
4 回目	乳歯・幼若永久歯の異常(歯数 形態 構造 色調)	
5 回目	乳歯・幼若永久歯の異常(萌出)	
6 回目	歯列・咬合の発育1	
7 回目	歯列・咬合の発育2	
8 回目	歯列・咬合の異常	
9 回目	小児の歯科疾患(乳歯・幼若永久歯のう蝕)	
10 回目	乳幼児期のう蝕予防	
11 回目	小児の歯科疾患(歯周疾患・口腔軟組織疾患)	
12 回目	小児歯科診療(対応法 局所麻酔 ラバーダム防湿)	
13 回目	小児歯科診療(診査法 シーラント 歯冠修復 歯内療法)	
14 回目	小児歯科診療(幼若永久歯の診療 歯の外傷 保隙処置)	
15 回目	試験	

評価方法

本試験

教科書

最新歯科衛生士教本 小児歯科 全国歯科衛生士教育協議会監修

副読本・資料

プリント配布

その他

教授要綱 シラバス

平成 31年 3 月 1 日

NO. 21

授業科目名	障害者歯科学	講義 実技 演習	担当教員	神奈川歯科大学 短期大学部 特任教授 西村 康	
授業コード					
分類	必修 選択必修				
学年	1年 ・ 2年		連絡先		
学期	前期・(後期)				
曜日一回数	木曜日 15回 30時間		単位		
時限			1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

障害者の歯科治療では、患者さんへの対応、治療、全身・口腔管理、指導などすべての事柄に対して、特別の配慮が必要である。その際に必要な身体的、知的、精神的特徴および障害者をとりまく環境と特有な口腔機能障害について理解するとともに、我々と同じ社会の一員である障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動がとれるようになることが到達目標である。

授業計画・内容（進度・予定）

備考

1回目	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史	
2回目	障害者歯科治療の困難性	
3回目	障害者歯科患者への歯科的対応	教科書P.51～77を読む
4回目	神経発達障害群:知的能力障害	教科書P.13～14を読む
5回目	神経発達障害群:Down症候群、自閉スペクトラム症	教科書P.13～16 21～23を読む
6回目	神経発達障害群:注意欠如・多動症、限局性学習障害	教科書P.24～25を読む
7回目	神経疾患:脳性麻痺、発作性疾患	教科書P.25～28を読む
8回目	神経・筋疾患:進行性筋ジストロフィー	教科書P.30～31を読む
9回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 循環器疾患①:高血圧症	
10回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 ②狭心症、心筋梗塞、不整脈、ペースメーカー装着者	
11回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 ③脳血管障害:脳梗塞、脳出血、くも膜下出血	
12回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 呼吸器疾患、代謝性疾患、感染性疾患	
13回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 神経・筋疾患、認知症、血液造血器疾患	
14回目	遺伝性疾患:唇顎口蓋裂等 小児感染症:ウイルス性疾患等	
15回目	試験	

評価方法

期末試験(筆記50%、客観試験50%)

教科書	最新 歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 医歯薬出版
副読本・資料	その他資料は担当教員が用意する。
その他	皆さんにとって初めて知ることが多いので、各回の授業後の復習をよく行って下さい。 さらに、毎回の授業の最初に前回授業についての確認テストを実施しますので、 できなかったところはさらに復習を自主的に行ってください。

# 教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 23 日

No.24

授業科目名	衛生学・公衆衛生学	講義 実技 演習	担当教員	日本産業歯科保健研究所 所長 須賀 雅彦
授業コード			連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火曜日 15回 30時間	単位		
時限	4限 15:00～16:40	2単位		

## 授業の概要と科目のねらい・到達目標

衛生学・公衆衛生学の目的は、人間の生活環境をより良いものとし、疾病や死に至るリスクから身体を守り、健康の保持・増進を図ることである。更にQOL(生命の質)を高めることや、ライフステージにおける健康・疾病・保健・環境・衛生・統計を理解し、歯科衛生士国家試験に対応することはもちろん、今後、歯科衛生士として必要な衛生学・公衆衛生学の知識を様々な分野・角度から学び、理解する。

## 授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考
1回目	ガイダンス・総論(公衆衛生とは・健康・予防医学の概念・分類・歴史・健康増進・健康づくり)	教科書2～9p
2回目	疫学(各種統計手法)	教科書10～38p
3回目	疫学(各種統計手法)・人口統計(人口統計・人口構造・平均寿命)	教科書10～38・38～65p
4回目	保健・医療・福祉制度(法規・医療安全制度・医療法・医療従事者・社会保障・社会福祉制度)	教科書74～171p
5回目	衛生行政・地域保健(衛生行政・関係法規)	教科書172～177p
6回目	成人保健・生活習慣病(成人保健・生活習慣病・健康づくり・健康日本21)	教科書178～197p
7回目	成人保健・生活習慣病(成人保健・生活習慣病・健康づくり・健康日本21)	教科書178～197p
8回目	母子保健(関係法規・統計・管理・対策)	教科書198～227p
9回目	高齢者保健(高齢者保健制度・介護保険制度・障害者福祉)	教科書228～259p
10回目	精神保健(関係法規・現状・対策)	教科書260～269p
11回目	感染症(関係法規・感染症の分類・予防対策・動向)	教科書270～307p
12回目	感染症(感染症の分類・予防対策・動向)・食品保健(食品衛生・食中毒・栄養)	教科書270～307・308～333p
13回目	学校保健(関係法規・統計・保健教育・管理)・産業保健(三管理・法規・メンタルヘルス)	教科書334～343・344～401p
14回目	産業保健(職業病)・環境保健(関係法規・物理・化学的要因・公害)・国際保健(WHO)	教科書344～401・402～427・428～434p
15回目	期末試験	

## 評価方法

・出席、学習意欲、課題、学期末の本試験により総合的に判断する。

教科書	『公衆衛生がみえる』メディックメディア
副読本・資料	プリント・講義参考資料等、適宜配布する。
その他	講義時に指示された箇所を各自で予習・復習して次回の講義に臨むこと。

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 22 日

No.25

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当教員	横浜防災看護専門学校 教務長 今井ミツル	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日	8回 16時間	単位		
時限	限	~	2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士と看護師が協働する場面の広がりから、看護の概念を学び、医療チームとして携わることと理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目	
2回目	
3回目	
4回目	
5回目	
6回目	
7回目	
8回目	
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

評価方法

学則の試験規定に従う。

教科書	歯科衛生士のための看護学大意 医歯薬出版
副読本・資料	
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 28 日

No.26

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当教員	龍谷大学歯学部附属病院 口腔機能診療科 中川 洋一	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日	回	時間	単位	
時限	限	~		2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

聴床検査法

検査の項目とその必要性を説明できる。

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	生体検査	
2回目	検体検査	
3回目	口腔領域の聴床検査	
4回目	主に疾患・病態別検査	
5回目		
6回目		
7回目		
8回目		
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

試験により判断する

教科書

歯科衛生士教科書 聴床検査

副読本・資料

その他

# 教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.25

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 副校長 浅野美穂華		
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-8		
分類	必修			自宅	045-474-3741	
学年	1年			携帯	-	
学期	後期			E-mail	<a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>	
曜日・回数	曜日	3 回	6 時間	単位		
時限	限	～		2単位		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

口腔ケア時のリスクマネジメント(摂食・嚥下障害)において、咽頭吸引のシュミレーターにて口腔及び鼻腔での取り除きの知識と技術を身につけることで、高齢者・障害者への臨床での適切な施術を行なえることを目指す。

### 授業計画・内容 (進度・予定)

	授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1 回目	講義) 口腔内・咽頭部の名称や機能について	
2 回目	講義/実習) マナポットや口腔咽頭の説明と実践1	
3 回目	講義/実習) マナポットや口腔咽頭の説明と実践2	
4 回目		
5 回目		
6 回目		
7 回目		
8 回目		
9 回目		
10 回目		
11 回目		
12 回目		
13 回目		
14 回目		
15 回目		

### 評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	配布資料
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 25 日

No.27

授業科目名	歯科補綴学	講義 実技 演習	担当教員	共生学園校長 細井 紀雄	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 14+1回	30 時間	単位		
時限	2 限	10時50分~12時30分	1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

クラウンブリッジ、有床義歯(全部床、部分床)、インプラント義歯の装置を学び、これらを用いた補綴歯科治療による咀嚼、嚥下、発音の機能回復と審美性の回復を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	序論, I編 1章 歯科補綴の概要	
2 回目	2章 補綴歯科治療の基礎知識 1, 2	
3 回目	2章 3, 4	
4 回目	3章 歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療 1	
5 回目	3章 2, 3, 4, 5, 6	
6 回目	4章 補綴装置の種類とその構造 1	
7 回目	4章 2	
8 回目	II編 補綴歯科治療の実際 1章 検査・診断 1, 2	
9 回目	2章 クラウンブリッジ治療の実際 1, 2	
10 回目	3章 有床義歯治療の実際 1, 2-1)	
11 回目	3章 2-2) 4章 インプラント治療の実際 1, 2, 3	
12 回目	5章 補綴歯科治療に用いられる材料 6章	
13 回目	III編 補綴歯科治療における歯科衛生士の役割	1章, 2章
14 回目	3章 患者指導, 4章 器材の管理	
15 回目	定期テスト	

評価方法

出席状況, 授業態度, 本試験により評価する

教科書

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1, 歯科補綴

副読本・資料

プリントを適宜配布する。

その他

# 教授要綱 シラバス

平成31年2月25日

No.28

授業科目名	歯周治療学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯周内科学講座 講師 白川 哲		
授業コード	連絡先					
分類						必修・選択必修
学年						1年・2年
学期						前期・後期
曜日・回数	木曜日	15回	30時間	単位		
時限	3限	13:10~14:50		1単位		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

一般目標: 歯科衛生業務を行なうために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。

#### 到達目標

- ・歯周病の種類と症状を説明できる。
- ・歯周外科手術の介助の概要を説明できる。
- ・歯周治療の流れを説明できる。
- ・口腔機能回復治療の概要を説明できる。
- ・歯周病検査法と検査結果を説明できる。
- ・歯周治療の再評価が出来る。
- ・歯周基本治療の術式と適応症を説明できる。
- ・歯周治療後のメンテナンスおよびSPTを説明できる。
- ・歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目 歯周治療とは (I編1章)	・歯周疾患の現状と治療 ・歯科衛生業務と歯周治療
2回目 正常な歯周組織の構造と機能 (I編2章)	・歯周組織の構造 ・歯周組織の機能
3回目 歯周疾患 (I編3章)	・歯周病の分類
4回目	・歯周病の原因
5回目	・歯周医学 ・インプラント周囲疾患
6回目 歯周治療の進め方 (II編1章)	・歯周病の予防と歯周治療の基本 ・歯周治療の進め方
7回目 歯周病の検査 (II編2章)	・主訴を中心とした一般診査と歯周病診査 ・咬合の診査 ・画像診断 ・その他の診査
8回目 歯周基本治療 (II編3章)	・歯周基本治療の目的と効果 ・歯周基本治療の内容と実際 ・薬物療法
9回目 スケーリング・ルートプレーニング (SRP) (III編1章④)	・SRP前の観察 ・SRPを行うときの注意事項 ・SRPを行う時期 ・SRPに用いる器具
10回目	・手用スケーラーの把持法 ・グレーシー型キュレット使用時の基本原則 ・術後評価と処置 ・シャープニング
11回目 歯周外科治療 (II編4章)	・歯周外科治療の目的と分類 ・歯周外科治療後の治癒形態 ・歯周外科治療の用いる器材 ・種々の歯周外科治療
12回目	組織付着療法 切除療法 歯周組織再生療法 歯周形成外科手術

13回目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・根分岐部病変の治療</li> <li>・歯周一歯内病変の治療</li> </ul>	
14回目	歯周治療としての口腔機能回復治療 (Ⅱ編5章)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周治療における口腔機能回復治療とは</li> <li>・咬合調整</li> <li>・歯周一矯正治療</li> <li>・歯の固定法</li> <li>・インプラントによる治療</li> </ul>	Ⅲ編1章⑥を含む
15回目	メンテナンス (Ⅱ編6章)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスの重要性とその意義</li> <li>・メンテナンス、SPTの実際</li> <li>・メンテナンス、SPTの内容</li> </ul>	Ⅲ編1章⑦を含む
評価方法			
・講義の出席、授業態度、定期試験より総合的に判断する。			
教科書	最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版		
副読本・資料	必要に応じ、適宜資料を配付する。		
その他			

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 26 日

No.29

授業科目名	衛生統計学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部名誉教授 鶴本 明久	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	水曜日 15回 30時間		単位		
時限	1限 9:00~10:40		1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

科学的根拠のある保健情報に基づく業務を遂行できる歯科衛生士となるために、疫学手法および衛生統計学を理解する。

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	予防の概念と予防の評価(衛生統計の意義)	
2回目	歯科疾患の有病状況	
3回目	疫学総論(疫学の基礎と理論)	
4回目	疫学の研究方法(疫学指標)	
5回目	歯科疾患の疫学指標Ⅰ(う蝕の指標)	
6回目	歯科疾患の疫学指標Ⅱ(歯口清掃の指標)	
7回目	歯科疾患の疫学指標Ⅲ(歯周疾患、その他)	
8回目	統計学の基本(基礎統計、検定)	
9回目	わが国の衛生統計(人口、保健医療統計)	
10回目	歯科疾患の疫学	
11回目	歯科疾患の予防方法とエビデンス	
12回目	歯科疾患予防効果の評価	
13回目	地域歯科保健の健康指標	
14回目	まとめⅠ(疫学研究の基本知識)	
15回目	まとめⅡ(歯科疾患状況と予防方法)	

評価方法

学則の試験規定で評価する。

教科書	歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 荒川浩久 他編
副読本・資料	レジュメ、プリント等、適宜資料を配布する

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.30

授業科目名	歯科矯正学	講義 実技 演習	担当教員	鹿児島大学名誉教授 中村 芳樹	
授業コード			連絡先		
分類	必修				
学年	2年				
学期	前期				
曜日・回数	月曜日 15回	30時間	単位		
時限		4限	4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

顎口腔系の成長発育について理解する。正常な歯列と咬合について理解する。不正咬合の種類、原因とその影響について理解する。不正咬合の診断に必要な資料と情報を理解する。不正咬合の診断とその治療法について概説できる。歯科矯正装置、器材について概説できる。歯科矯正中の患者の口腔保健指導、口腔ケアと心理的支援を理解する。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備考
1 回目 歯科矯正学の概要	
2 回目 顎顔面の解剖学・成長発育	頭蓋、顎顔面、歯列の成長発育
3 回目 正常咬合と不正咬合	正常咬合、不正咬合とその分類と原因
4 回目 矯正歯科診断・頭部エックス線規格写真分析	矯正診断に必要な検査資料とその分析
5 回目 矯正力の種類と特徴	矯正力の種類と歯の移動時の組織反応
6 回目 矯正装置	矯正装置の適応症とその作用
7 回目 矯正治療の実際 1	顎整形治療と矯正治療
8 回目 矯正治療の実際 2	成長期の治療と成人の治療
9 回目 矯正診断時の歯科衛生士の業務	矯正の検査、診断時にかかわる業務
10 回目 矯正診療時の歯科衛生士の業務	矯正治療時に関わる業務
11 回目 患者の口腔保健指導と管理	患者へのアプローチ
12 回目 口腔機能療法	MFTについて解説
13 回目 矯正臨床における診療補助・消毒・管理	矯正診療に関わる器材、資料、文書の管理
14 回目 総まとめ	
15 回目 定期試験	
評価方法	期末の客観試験、記述試験による総括的評価
教科書	咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正(全国歯科衛生士教育協議会 監修)
副読本・資料	
その他	復習(講義内容を整理し、理解して覚える)を励行してください。

教授要綱 シラバス

平成 31年 2月 25日

No.31

授業科目名	高齢者歯科・摂食嚥下学	講義 実技 演習	担当教員	大貫 歯科医院 院長 大貫 昌理	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 11回 22時間		単位		
時限	2限 10:50~12:30		1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

高齢者歯科学の目的、意義を理解させ、その歯科診療補助、保健指導、訪問歯科診療などについて講義する。

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	I編, 1章, 2章	大貫担当
2回目	" 3章	"
3回目	II編, 1章, 2章	"
4回目	" 3章	"
5回目	III編, 1章	"
6回目	" 2章	"
7回目	" 3章, 4章	"
8回目	IV編, 1章, 2章	"
9回目	" 3章	"
10回目	V編, 1章, 2章	"
11回目	" 3章	"
12回目		細井先生担当
13回目		
14回目		
15回目	定期試験	

評価方法

学則の試験規定で評価する。

教科書

最新歯科衛生士教科書 高齢者歯科 全国歯科衛生士教育協議会

副読本・資料

必要に応じ資料を配付する。

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 25 日

No.32

授業科目名	高齢者歯科・摂食嚥下学	講義 実技 演習	担当教員	大貫 昌理 先生 共生学園校長 大貫 昌理・細井 紀雄
授業コード			連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日 3+1回 8時間	単位		
時限	2限 10:50~12:30	1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

在宅と介護施設における摂食・嚥下リハビリテーションを学び、医療と介護の法利後を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目	大貫先生
2回目	〃
3回目	〃
4回目	〃
5回目	〃
6回目	〃
7回目	〃
8回目	〃
9回目	〃
10回目	〃
11回目	〃
12回目	V編 4章 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハビリテーション
13回目	5章 介護施設におけるリハビリテーション VI編 高齢者に関する医療と介護 1章, 2章
14回目	VI編 3章, 4章 VII編 高齢者歯科における歯科衛生過程
15回目	定期テスト

評価方法

出席状況, 本試験の結果により評価する

教科書	最新歯科衛生士教科書 高齢者歯科
副読本・資料	
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.33

授業科目名	衛生行政・社会福祉学	講義 実技 演習	担当教員	クロスガーデンデンタルクリニック院長 藤原 恵	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	水曜日 15回 30時間		単位		
時限	1限 9:00~10:40		2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士に關する法律に理解を深め、業務を適正に行ふようにする

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	1章① 歯科衛生士と法律	
2回目	② 歯科衛生士法(1)	
3回目	③ 1 (2)	
4回目	④ 1 (3)	
5回目	⑤ 歯科医師法	
6回目	⑥ 歯科技工師法、医療法	
7回目	2章① 歯科医療と關する法律(1)	
8回目	② 1 (2)	
9回目	3章① 薬事に關する法律	
10回目	② 地域保健に關する法律	
11回目	4章① 社会保障	
12回目	② 医療保険	
13回目	③ 介護保険	
14回目	④ 社会福祉	
15回目	5章 医療の動向	

評価方法

学期の試験結果を以て評価する

教科書

最新歯科衛生士教本  
歯科衛生士と法律・制度 (西条薬出版)

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.35

授業科目名	医療倫理	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学名誉教授 関根 透	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	金曜日 15回	時間	単位		
時限	1限	9:00~10:40	2単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

医療倫理の内容である患者の基本的な人権の尊重、国際的倫理規範、プロフェッショナルの倫理、倫理的医療対話、生命倫理の内容、インフォームドコンセントなどを十分に理解し、判断でき、説明でき身につけて振り舞いできるようにする。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	オリエンテーションと現代日本の複雑な医療倫理状況	1回目から15回目まで教材を配布
2回目	患者の基本的な人権を尊重した医療倫理	
3回目	国際的倫理規範の示す医療倫理	
4回目	医療職者(プロフェッショナル)の倫理と健康増進	
5回目	日本の医療倫理の流れ(1)	プロジェクターを使用
6回目	日本の医療倫理の流れ(2)	プロジェクターを使用
7回目	倫理的医療対話と信頼関係作り	
8回目	生命倫理と先端医療の倫理・たばこの向是頁	
9回目	インフォームドコンセントについて	
10回目	生と死の倫理的向是頁と超高齢者の向是頁	
11回目	倫理審査委員会と治験審査委員会	
12回目	懸案集死と尊厳死の向是頁、実験動物の倫理	
13回目	科学者の倫理の不正行為と利益相反の向是頁	
14回目	医療倫理のビデオ鑑賞と討議	レポートの提出
15回目	医療倫理のまとめと期末試験	

評価方法

出席率、学習態度、レポート、小テスト、本試験結果を総合的に評価する。

教科書	第1回目に15回分の教科書に当分の配布物を全て学生に渡す『医療倫理学』
副読本・資料	必要に応じて資料も適宜配布する。
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 2 月 25 日

No.36

授業科目名	情報処理	講義 実技 演習	担当教員	ITコンサルタント / 代表取締役 鹿股 夫章	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日 8回 16時間		単位		
時限	3限 13:10 ~ 16:40		1単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

マイクロソフト office アプリケーション (Word / Excel / powerpoint) の基本操作を実践を通し学ぶ。さらにインターネットセキュリティ、個人情報保護の扱い、ビジネス文章の作成方法を学ぶを目標。

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	インターネットの扱い方、セキュリティ講習	
2回目	Word の基本操作、テンプレート保存	
3回目	Word の応用、ビジネス文章の書き方	
4回目	Excel の基本操作、表計算	
5回目	Excel の応用、グラフ作成	
6回目	Power Point の基本操作、図やデータの挿入	
7回目	Power Point の応用、プレゼン資料作成の準備	
8回目	課題(試験) Power Point で資料作成	
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

Power point でプレゼン資料作成、その内容で評価する。  
自らインターネットで図やグラフを選択、効果的な資料を作成。  
ドキュメントやグラフ、アニメーションを使用 - Word、Excel の習得度合いも評価対象

教科書

「下巻」 Word、Excel、Power Points

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

平成 31年 2月 27日

No.37

授業科目名	接遇	講義 実技 演習	担当教員	株式会社TEI 接遇講師 三橋 滋子、中村 優子	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木曜日 10回 30時間			単位	
時限	3, 4限 13:10 ~ 16:30		4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士に求められる「接遇・ビジネス」の基本を学び  
職場で実行できるように身につける。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	オリエンテーション・接遇概要	
2回目	挨拶・表情・笑顔・身だしなみ	講義及び実技
3回目	話し方と声・コミュニケーション	"
4回目	言葉遣い・敬語	"
5回目	立ち居振る舞い(姿勢・立ち方・座り方)	"
6回目	" (来客対応・名刺交換)	"
7回目	電話応対	"
8回目	文書の書き方・ビジネスメールの基本	文書作成
9回目	冠婚葬祭・グループ対応	講義及び実技
10回目	まとめ	
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

- ・出席率、学習態度、意欲等から総合的に判断する
- ・授業中実技レベルに即評価を行う
- ・期末試験により判断する

教科書

「接遇」三橋 滋子

副読本・資料

その他

三橋 滋子 略歴  
元日本航空株式会社勤務、現株式会社TEI代表取締役会長

教授要綱 シラバス

平成 3 / 年 3 月 6 日

No.38

授業科目名	接遇	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科大学 浅野 美穂 華 副校長	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	木 曜日 10 回 20 時間		単位	:	
時限	3, 4 限 13:10 ~ 16:40		4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科医療の職場で求められる「医療接遇マナー」の基本を学び  
実行できるよう身につける。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	組織入、医療人としての基本姿勢	
2 回目	上司・同僚に対するマナー	
3 回目	歯科医療現場における患者様に対する	
4 回目	歯科医療現場での身だしなみを学ぶ	
5 回目	課題(試験)の資料作成または口頭試験	
6 回目		
7 回目		
8 回目		
9 回目		
10 回目		
11 回目		
12 回目		
13 回目		
14 回目		
15 回目		

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書

配布プリント

副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布したり、スライドに資料を写し提示したりする。

その他

授業内容をよく復習し、臨床実習で実践する。

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 2月 26日

No.39

授業科目名	介護福祉論	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座 非常勤講師 飯田良平	
授業コード			連絡先		
分類	選択必修				
学年	1年 ・ 2年				
学期	前期 ・ 後期				
曜日・回数	曜日 8回	16時間	単位		
時限	限 ~		2単位		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** <摂食嚥下障害についての基礎知識と臨床で必要となるアセスメントや訓練について学ぶ。>

- ・摂食嚥下機能とその障害を理解する。 ・摂食嚥下リハビリテーションの流れを理解する。
- ・摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割を理解する。 ・歯科衛生士に必要なアセスメントを理解する。
- ・歯科衛生士に必要なスクリーニングテストができる。 ・歯科衛生士に必要な訓練ができる。

授業計画・内容 (進捗・予定)		備考
1 回目	摂食嚥下機能とは	
2 回目	摂食嚥下障害とは	
3 回目	摂食嚥下リハビリテーションと共通言語	
4 回目	歯科衛生士に必要なアセスメント	
5 回目	歯科衛生士に必要なスクリーニングテスト	
6 回目	摂食嚥下機能評価と精密検査(VE/VF)	
7 回目	訓練(直接訓練・間接訓練)	
8 回目	摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割と実際	
9 回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

<b>評価方法</b>	学期ごとの定期試験により評価する。
-------------	-------------------

<b>教科書</b>	
<b>副読本・資料</b>	配布資料あり
<b>その他</b>	

教授要綱 シラバス  
平成 31年 2月 26日

No.

授業科目名	放射線学	講義 実技 演習	担当教員	伊東 宏和 鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 助教	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日	8回	時間	単位	
時限	限	～		4単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

エックス線を含む放射線について正しく理解し、その影響と防護について説明できる  
エックス線装置を含む撮影用器具について理解する  
各種エックス線撮影及び写真処理について理解する

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	歯のエックス線写真の特徴、病的像の成り立ちを理解する	
2回目	放射線の種類を列挙し、その量と人体の影響を理解する	
3回目	人体への影響と放射線防護を理解する	
4回目	歯科用X線装置の構造を理解し、エックス線の発生を説明する	
5回目	エックス線像の成り立ちを説明でき、撮影用器具を列記できる	
6回目	撮影の原理を説明でき、撮影補助を理解する	
7回目	パノラマエックス線撮影の原理を理解し、撮影補助を説明できる	
8回目	写真処理の原理を理解する。その他の画像検査を理解する	
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書	最新歯科衛生士教本 歯科放射線 医歯薬出版株式会社
副読本・資料	必要に応じ、適宜資料を配布する
その他	授業終了時に支持された箇所を各自予習して授業に臨むこと

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No. \*

授業科目名	薬理	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部教授 細矢 哲康	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	全曜日 15回 30時間	単位			
時限	1限 9:00~10:40	4単位			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

薬理学の基本概念を理解し、歯科衛生士として薬物を安全かつ効果的に使用する基礎的知識を修得する。

1. 薬物の安全な使用について説明できる。
2. 薬理作用について説明できる。
3. 薬物の投与方法と服薬指導について説明できる。
4. 薬理作用に影響する要因について説明できる。
5. 薬物の吸収、分布、代謝、排泄について説明できる。
6. 中枢神経系・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。
7. 抗炎症薬の種類と作用について説明できる。
8. 化学療法薬、消毒薬について説明できる。
9. 全身麻酔・局所麻酔について説明できる。
10. 歯科用薬物の種類と作用について説明できる。

授業計画・内容 (進捗・予定)

回数	内容	備考
1回目	総論1(薬理学ならびに薬物の定義と分類、薬理作用等)	
2回目	総論2(薬物の作用機序、薬物動態、薬物の投与方法等)	
3回目	総論3(薬理作用に与える影響を与える因子、薬物の副作用)	
4回目	中枢神経に作用する薬物(全身麻酔薬、催眠薬、鎮痛薬、中枢神経興奮薬)	
5回目	末梢神経に作用する薬物(自律神経作用薬、局所麻酔薬等)	
6回目	呼吸・循環器に作用する薬物(心疾患、高血圧、気管支治療薬)、血液作用薬	
7回目	抗炎症薬1(炎症の定義と経過、ケミカルメディエーター)	
8回目	抗炎症薬2(抗炎症薬の分類)	
9回目	ビタミン・ホルモン(ホルモン製剤)	
10回目	病原微生物に作用する薬物(感染、消毒薬、抗菌薬、歯科臨床での感染予防)	
11回目	悪性腫瘍に作用する薬物、免疫抑制薬	
12回目	腐食・収斂薬	
13回目	歯科薬理学1(う蝕予防薬、歯内療法治療薬、歯周病治療薬)	
14回目	服薬指導	
15回目	まとめ	

評価方法

期末の筆記試験で総括的に評価を行う。  
聴講状況および授業態度を総括的に評価に積極的に加味する。

教科書

最新歯科衛生士教本 薬理学、全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版

副読本・資料

講義前に配布するプリント

教授要綱 シラバス

平成 年 月 日

No. \*

授業科目名	保険請求	講義 実技 演習	担当教員	鹿児島大学歯学部歯内療法科 教授 細矢 哲康	
授業コード			連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日 8回 16時間			単位	
時限	1限 9:00 ~ 10:40		4単位		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科における診療報酬請求の知識を修得する。

1. 社会保障制度と医療保険について説明できる。
2. 保険診療について説明できる。
3. 医療保険に係わる組織と保健医療機関について説明できる。
4. 診療録ならびに診療報酬明細書について説明できる。
5. 地域包括ケアシステムと医療機関の施設基準について説明できる。
6. 医療安全と院内感染対策について説明できる。
7. 保険診療と自費診療の違いについて説明できる。
8. 基本的な略号について説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考
1回目	社会保障と医療制度	
2回目	保険者、被保険者、保険医療機関、診療報酬請求に関する審査	
3回目	歯科診療録と診療報酬明細書	
4回目	地域包括ケアシステム、周術期口腔機能管理、訪問歯科診療	
5回目	医療安全と院内感染対策	
6回目	保険診療の疑義解釈	
7回目	医療保険用語、保険診療と自費診療	
8回目	まとめ	

評価方法

期末の筆記試験で総括的に評価を行う。  
聴講状況および授業態度を総括的に評価に積極的に加味する。

教科書 講義前に配布するプリント

副読本・資料

教授要綱 シラバス

成 31 年 3 月 3 日

No.41

授業科目名	予防処置	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 齋藤由梨・西条美和・大西みのり・五味法子	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修			自宅 045-474-3741	
学年	1年・2年・3年			携帯 - -	
学期	前期・後期			E-mail info@dental-hygienist.ac.jp	
曜日・回数	曜日	60回	120時間	単位	
時 限	限	~		2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識を学ぶ。歯周組織の健康像と病的変化を把握する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTCの技術を顎模型上で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論を学ぶ。予防的歯石除去法の基礎知識を学びそれに用いる器具、器材の使用法と手技を理解する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術習得をする。

授業計画・内容 (進捗・予定)

回数	内容	備考
1 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション1	
2 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション2	
3 回目	実習) 器材を理解しながら記名する1	
4 回目	実習) 器材を理解しながら記名する2	
5 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識1	
6 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識2	
7 回目	講義) 歯周病の基礎知識について1	
8 回目	講義) 歯周病の基礎知識について2	
9 回目	講義) う蝕の基礎知識について1	
10 回目	講義) う蝕の基礎知識について2	
11 回目	講義) 手用スケーラーについて1	
12 回目	講義) 手用スケーラーについて2	
13 回目	講義) 手用スケーラーについて1	
14 回目	講義) 手用スケーラーについて2	
15 回目	講義) グラム染色1	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)
副読本・資料	配布資料
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.42

授業科目名

予防処置 I

講義  
実技  
演習

担当教員

新横浜歯科衛生士専門学校

齋藤由梨・西条美和・大西みのり・五味法子



16 回目	実習)グラム染色1	
17 回目	実習)グラム染色2	
18 回目	実習)ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング1	
19 回目	実習)ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング2	
20 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(1)	
21 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(2)	
22 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(3)	
23 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(4)	
24 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(1)	
25 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(2)	
26 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(3)	
27 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(4)	
28 回目	実習)各スケーラー操作(1)	
29 回目	実習)各スケーラー操作(2)	
30 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(1)	
31 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(2)	
32 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(3)	
33 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(4)	
34 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(5)	
35 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(6)	
36 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(7)	
37 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(8)	
38 回目	講義)スケーラーシャープニングについて1	
39 回目	講義)スケーラーシャープニングについて2	
40 回目	実習)スケーラーシャープニングについて3	
41 回目	実習)スケーラーシャープニングについて4	
42 回目	実習)スケーラーシャープニングについて5	
43 回目	実習)スケーラーシャープニングについて6	
44 回目	講義)スケーラーシャープニングについて7	
45 回目	講義)スケーラーシャープニングについて8	

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.43

授業科目名	予防処置 I	講義 実技 演習	担当教員	齋藤由梨・西条美和・大西みのり・ 五味法子	
46 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー1				
47 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー2				
48 回目	講義)プロービングと諸審査1				
49 回目	講義)プロービングと諸審査2				
50 回目	講義)歯間離開度・MOD診査				
51 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)1				
52 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)2				
53 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)3				
54 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)4				
55 回目	講義)カリオグラムについて				
56 回目	実習)カリオグラム実習1				
57 回目	実習)カリオグラム実習2				
58 回目	講義)フッ素について				
59 回目	講義)超音波スケーラー・エラスケーラーについて1				
60 回目	講義)超音波スケーラー・エラスケーラーについて2				
61 回目					
62 回目					
63 回目					
64 回目					
65 回目					
66 回目					
67 回目					
68 回目					
69 回目					
70 回目					
71 回目					
72 回目					
73 回目					
74 回目					
75 回目					

教授要綱 シラバス

成 31年 3月 3日

No.44

授業科目名	予防処置Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 齋藤由梨・西条美和・大西みのり・五味法子 教員	
授業コード			連絡先	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期			自宅 045-474-3741	
曜日・回数	曜日 45回 90時間	単位	携帯	-	-
時限	限 ~	2単位	E-mail	info@dental-hygienist.ac.jp	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** う蝕予防と歯周病予防を理解し歯周組織の健康像と病的变化を把握する。その手段としての各検査法スケーリング、PMTGの技術を相互実習または顎模型を使用して身につける。また、健康とQOLにかかわりのある口腔保健管理の理論を習得する。「歯科予防処置Ⅰ(基礎知識・基礎技術)」で学んだ知識と技術を踏まえ、相互実習で実際に口腔内での技術を学ぶ。さらに口腔観察や歯周病の継続管理の方法を習得する。加えて「歯周予防処置演習Ⅰ(基礎知識・基本技術)」で学んだう蝕及びう蝕予防法の知識を基に、顎模型上演習を通しその技術を習得する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目 講義)2年次予防処置についてのオリエンテーション	予防/う蝕
2回目 講義)1年次総復習テスト	予防/う蝕
3回目 講義)1年次総復習テストの解答解説	
4回目 実習)相互 スケーリング・歯面研磨	
5回目 実習)相互 スケーリング・歯面研磨	
6回目 講義)フッ化物について(1)	う蝕
7回目 講義)フッ化物について(2)	う蝕
8回目 実習)相互 フッ化物の局所応用	う蝕
9回目 講義)患者様実習について	
10回目 実習)マネキン・スケーリング基本操作(1)	
11回目 実習)マネキン・スケーリング基本操作(2)	
12回目 実習)フッ化物局所塗布法(マネキン)	う蝕
13回目 実習)相互 フッ化物局所塗布法	う蝕
14回目 講義)フッ化物についてまとめ(3)	う蝕
15回目 講義)カリエスリスク評価について(1)	う蝕

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)
副読本・資料	配布資料
その他	

# 教授要綱 シラバス

31年 3月 3日

No.45

授業科目名	予防処置Ⅱ	講義 実技 演習	新横浜歯科衛生士専門学校 担当教員 齋藤由梨・西条美和・天西みのり・五味法子 教員	
16 回目	講義)フッ化ジアンミン銀・イオン導入法・小窩裂溝填塞法			う蝕
17 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
18 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
19 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(1)			う蝕
20 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(2)			う蝕
21 回目	実習)小窩裂溝填塞法 術式確認模型にて			う蝕
22 回目	実習)小窩裂溝填塞法のまとめ			う蝕
23 回目	講義)カリエスリスク評価			う蝕
24 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
25 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
26 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
27 回目	講義)歯周組織検査評価			予防処置
28 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
29 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
30 回目	講義)カリエスリスク評価(2)			う蝕
31 回目	講義)歯周病リスク評価(1)			う蝕
32 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
33 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
34 回目	講義)カリエスリスク評価(3)			う蝕
35 回目	実習)相互 BIT・歯面研磨			予防処置
36 回目	実習)相互 TBI・歯面研磨			予防処置
37 回目	講義)歯周病リスク評価(2)			う蝕
38 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
39 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
40 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
41 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
42 回目	講義)歯科予防処置 メインテナンス評価(1)			予防処置
43 回目		患者様実習		予防処置
44 回目		患者様実習		予防処置
45 回目		患者様実習		予防処置

教授要綱 シラバス

平成 31年

3月

3日

No.46

授業科目名	予防処置Ⅱ	講義 実技 演習 新横浜歯科衛生士専門学校 担当教員 齋藤由梨・西条美和・大西みのり・五味法子 教員	
46 回目	患者様実習	予防処置	
47 回目	患者様実習	予防処置	
48 回目		予防処置	
49 回目	患者様実習	予防処置	
50 回目		予防処置	
51 回目	講義) 歯科予防処置 メンテナンス評価(2)	予防処置	
52 回目	講義) 歯科予防処置 メンテナンス評価(3)	予防処置	
53 回目	実習) 相互実習1	予防処置/う蝕	
54 回目	実習) 相互実習2	予防処置/う蝕	
55 回目	実習) 相互実習3	予防処置/う蝕	
56 回目	実習) 相互実習4	予防処置/う蝕	
57 回目	実習) 相互実習5	予防処置/う蝕	
58 回目	実習) 相互実習6	予防処置/う蝕	
59 回目	定期試験	予防処置	
60 回目	定期試験	う蝕	
61 回目			
62 回目			
63 回目			
64 回目			
65 回目			
66 回目			
67 回目			
68 回目			
69 回目			
70 回目			
71 回目			
72 回目			
73 回目			
74 回目			
75 回目			

教授要綱 シラバス

成 31 年 3 月 3 日

No.47

授業科目名	予防処置Ⅲ	講義 実技 演習	新横浜歯科衛生士専門学校 担当教員 斎藤由梨・西条美和・大西みのり・五味法子 教員		
授業コード			連絡先 〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8 自宅 045-474-3741		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日 15回 30時間		単位	携帯 - -	
時限	限 ~		2単位	E-mail info@dental-hygienist.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識や歯周組織の健康像と病的変化を把握し評価する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTQCの技術を相互実習で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論やその大切さを患者に対して適切に指導しそれに用いる器具、器材の使用法と手技を選択する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術を確立をする。

授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考
1 回目 実習)相互:手用スケーラー1	
2 回目 実習)相互:手用スケーラー2	
3 回目 実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)1	
4 回目 実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)2	
5 回目 実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)3	
6 回目 実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)4	
7 回目 実習)相互:口腔内診査1	
8 回目 実習)相互:口腔内診査2	
9 回目 実習)相互:口腔内診査3	
10 回目 実習)相互:口腔内診査4	
11 回目 実習)相互:口腔内診査5	
12 回目 実習)患者様実習1	
13 回目 実習)患者様実習2	
14 回目 実習)患者様実習3	
15 回目 実習)患者様実習4	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)
副読本・資料	配布資料
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.48

授業科目名	保健指導 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 大西みのり・五味法子・吉野里美・西条美和	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修			自宅	045-474-3741
学年	1年・2年・3年			携帯	-
学期	前期・後期			E-mail	<a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
曜日・回数	曜日 60回 120時間	単位	携 帯	-	-
時 限	限 ~	2単位			
授業の概要と科目のねらい・到達目標		歯科保健指導の法的な位置づけの理解と歯科保健指導論の定義、歯科衛生過程、また健康と疫学概念を理解し、歯・口腔の基礎知識、口腔の2大疾患(う蝕・歯周病)の原因とその予防方法の基礎知識を習得する。さらに行動変容理論を理解し、人々が健康な行動に変容できる指導について学習する。またライフステージ別の特徴とプロフェッショナルケアセルフケアを理解し、対象者の口腔衛生指導方法と清掃用具の選択方法を学ぶ。			
授業計画・内容 (進度・予定)			備 考		
1 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(1)				
2 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(2)				
3 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(3)				
4 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(4)				
5 回目	講義)口腔の基礎知識(1)				
6 回目	講義)口腔の基礎知識(2)				
7 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識1				
8 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識2				
9 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識3				
10 回目	実習)口腔の基礎知識(2)				
11 回目	実習)口腔の基礎知識(3)				
12 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(1)				
13 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(2)				
14 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(3)				
15 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(4)				
評価方法		小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)				
副読本・資料	配布資料				
その他					

教授要綱 シラバス

平成 31年 3 月 3日

No.49

新横浜歯科衛生士専門学校  
教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・西条美和



授業科目名	保健指導 I	講義 実技 演習	担当教員
16 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法1		
17 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法2		
18 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)1		
19 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)2		
20 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法1		
21 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法2		
22 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)		
23 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)		
24 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)		
25 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)		
26 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)		
27 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)		
28 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)		
29 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)		
30 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴		
31 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴		
32 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
33 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
34 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴		
35 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴		
36 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
37 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
38 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴		
39 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴		
40 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
41 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)		
42 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴		
43 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴		
44 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・口腔清掃(歯ブラシ選択)		
45 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・口腔清掃(歯ブラシ選択)		

教授要綱 シラバス

平成 3 / 年 3 月 3 日

No.50

授業科目名

保健指導 I

講義  
実技  
演習

新横浜歯科衛生士専門学校  
担当教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・西条美和  
大西



46 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴1	
47 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴2	
48 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1	
49 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2	
50 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴1	
51 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴2	
52 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1	
53 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2	
54 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者1	
55 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者2	
56 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者3	
57 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者4	
58 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者5	
59 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者6	
60 回目	総復習(定期テスト)	
61 回目		
62 回目		
63 回目		
64 回目		
65 回目		
66 回目		
67 回目		
68 回目		
69 回目		
70 回目		
71 回目		
72 回目		
73 回目		
74 回目		

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.51

授業科目名	保健指導Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 大西みのり・五味法子・吉野里美・西条美和 教員	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期			自宅 045-474-3741	
曜日・回数	曜日 45回 90時間	単位	携帯	- -	
時限	限 ~	2単位	E-mail	info@dental-hygienist.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

社会制度、医療制度の変革と人々の生活環境を理解するとともに、歯・口腔の健康を維持・増進するために、予防の概念に基づいた、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術・態度を習得する。地域歯科保健の概要を理解し、対象者の年齢や環境における個人及び集団にふさわしい口腔衛生指導、メンテナンス管理方法、指導案作成の知識、技術の習得、歯科衛生過程に基づいた問題発見、解決方法、評価について学ぶ。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃指導について	
2回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具(歯ブラシ・デンタルフロス・歯間ブラシ等)	
3回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具(音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤等)	
4回目	講義) 地域歯科保健指導活動 健康教育(健康教育の概要、進め方、方法)	
5回目	講義) 地域歯科保健指導活動 実践(小学校、保育園、幼稚園の指導案作成、教育媒体について)	
6回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)1	
7回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)2	
8回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)3	
9回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)4	
10回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)5	
11回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)6	
12回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)7	
13回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)8	
14回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)9	
15回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス)10	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書

最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)

副読本・資料

配布資料

その他

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.52

新横浜歯科衛生専門学校  
大西みのり・五味法子・吉野里美・西条美穂



授業科目名	保健指導Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員
16 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 妊産婦		
17 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 乳幼児		
18 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 学童		
19 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(歯周病)		
20 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(補綴物装着者・インプラント)		
21 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(義歯装着者)		
22 回目	講義)地域歯科保健指導活動の実践(高齢者保健施設における歯科保健指導)		
23 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(対象者の把握)		
24 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(口腔ケア)		
25 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)1		
26 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)2		
27 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)3		
28 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)4		
29 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)5		
30 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)6		
31 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)7		
32 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)8		
33 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)9		
34 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)10		
35 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)11		
36 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)12		
37 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)13		
38 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)14		
39 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)15		
40 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)16		
41 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)17		
42 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)18		
43 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)19		
44 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)20		
45 回目	総まとめ(定期テスト)		
46 回目			
47 回目			
48 回目			
49 回目			
50 回目			
51 回目			
52 回目			
53 回目			
54 回目			
55 回目			
56 回目			
57 回目			
58 回目			
59 回目			
60 回目			

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.53

授業科目名	保健指導Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 大西みのり・五味法子・菅野里美・西条美希 教員		
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8		
分類	必修・選択必修			自宅	045-474-3741	
学年	1年・2年・3年			携帯	-	
学期	前期・後期			E-mail	info@dental-hygienist.ac.jp	
曜日・回数	曜日 15回	30時間	単位	-		
時限	限	～	2単位			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 地域歯科保健における健康教育の在り方や歯科衛生過程に基づいた、各症例の検討、摂食性肺炎の予防、口腔粘膜疾患の予防、周術期や在宅での口腔ケア、口腔機能向上など、口腔清掃の自立支援や対象者の健康を維持するための歯科衛生介入を考え実践できる知識と技術を習得する

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1回目 歯科衛生過程の展開	
2回目 歯科衛生過程演習オリエンテーション	
3回目 歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)1	
4回目 歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)2	
5回目 歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)3	
6回目 歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)1	
7回目 歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)2	
8回目 歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)3	
9回目 地域保健活動(障害者)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習	
10回目 地域保健活動(高齢者)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習	
11回目 地域保健活動(介護予防)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習	
12回目 地域保健活動(口腔保健センター)1歳6ヶ月児、2歳6ヶ月児、3歳児口腔衛生指導	
13回目 歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)1	
14回目 歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)2	
15回目 歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)3	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)
副読本・資料	配布資料
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.54

授業科目名	歯科診療補助 I	講義 実技 演習	新横浜歯科衛生士専門学校 担当教員 西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美		
授業コード			連絡先 〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8 自宅 045-474-3741		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日 30回 60時間	単位	携帯 - -		
時限	限 ~	2単位	E-mail info@dental-hygienist.ac.jp		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 歯科衛生士法における歯科診療補助業務の位置づけを理解する。また、歯科診療補助と介助の違いを理解し歯科診療における治療の概要、それにおける基礎知識、基礎技術を習得する。また、歯科材料学においては材料のコンシステンシーと操作方法を理解し、歯科材料の科学的基礎知識及び基礎技術を習得する。基礎技術においては顎模型、マネキンを用いて習得する。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考
1 回目	講義)実習オリエンテーション	
2 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)1	
3 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)2	
4 回目	実習)衛生材料①・②1	
5 回目	実習)衛生材料①・②2	
6 回目	実習)衛生材料③	
7 回目	実習)衛生材料④	
8 回目	講義)歯科診療室の基礎知識1(歯科材料の種類と特性)	
9 回目	講義)歯科診療室の基礎知識2(歯科器材・機器の種類と特性)	
10回目	講義)医療安全と感染予防	
11回目	講義)消毒と滅菌	
12回目	講義)消毒と滅菌の共同作業	
13回目	講義)石膏について	
14回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)1	
15回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)2	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.55

新横浜歯科衛生士専門学校  
西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美



授業科目名	歯科診療補助 I	講義 実技 演習	担当教員
16 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 1		
17 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 2		
18 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 1		
19 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 2		
20 回目	講義) アルジネート印象材について		
21 回目	実習) アルジネート印象材の練和1		
22 回目	実習) アルジネート印象材の練和2		
23 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得1顎模型		
24 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得2顎模型		
25 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得1		
26 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得2		
27 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得3		
28 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得4		
29 回目	講義) 歯科診療補助(前期)まとめ		
30 回目	確認テスト		
31 回目			
32 回目			
33 回目			
34 回目			
35 回目			
36 回目			
37 回目			
38 回目			
39 回目			
40 回目			
41 回目			
42 回目			
43 回目			
44 回目			
45 回目			

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.56

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ	講義 実技 演習	新横浜歯科衛生士専門学校 担当教員 西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美 教員	
授業コード		連絡先	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8  自宅 045-474-3741	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年・3年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	曜日 30回 60時間			単位
時限	限 ~	2単位	E-mail info@dental-hygienist.ac.jp	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 歯科衛生士法における歯科診療補助業務の位置づけを理解する。また、歯科診療補助と介助の違いを理解し歯科診療における治療の概要、それにおける基礎知識、基礎技術を習得する。また、歯科材料学においては材料のコンシステンシーと操作方法を理解し、歯科材料の科学的基礎知識及び基礎技術を習得する。基礎技術においては顎模型、マネキンを用いて習得する。

授業計画・内容 (進捗・予定)		備考
1回目	講義)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践1	
2回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践2	
3回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践3	
4回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践4	
5回目	講義)バキュームテクニックについて	
6回目	実習)バキュームテクニックの実践・マネキン	
7回目	講義)口腔内洗浄による共同作業1	
8回目	実習)口腔内洗浄による共同作業2	
9回目	講義)合着剤・接着剤について1	
10回目	実習)合着剤・接着剤について2	
11回目	講義)仮封剤について1	
12回目	実習)仮封剤について2	
13回目	実習)合着剤・接着剤・仮封剤の補助1	
14回目	講義)合着剤・接着剤・仮封剤の補助2	
15回目	講義)寒天印象材について1	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学
その他	

教授要綱 シラバス

平成 31 年 3 月 3 日

No.59

新横浜歯科衛生士専門学校  
西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美



授業科目名	歯科診療補助Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員
16 回目	印象採得1(顎模型上:片顎)		
17 回目	印象採得2(顎模型上:全顎)		
18 回目	印象採得相互実習1(片顎)		
19 回目	印象採得相互実習2(片顎)		
20 回目	講義)仮封材、合着材1		
21 回目	実習)仮封材、合着材の練習		
22 回目	実習)寒天連合印象材 共同作業		
23 回目	講義)寒天連合印象材について		
24 回目	歯科診療補助における歯科矯正学の共同作業1		
25 回目	歯科診療補助における歯科矯正学の共同作業2		
26 回目	歯科診療補助における口腔外科学共同作業1		
27 回目	歯科診療補助における口腔外科学共同作業2		
28 回目	歯科診療補助における口腔外科学共同作業3		
29 回目	歯科診療補助における口腔外科学共同作業4		
30 回目	総合まとめ		
31 回目			
32 回目			
33 回目			
34 回目			
35 回目			
36 回目			
37 回目			
38 回目			
39 回目			
40 回目			
41 回目			
42 回目			
43 回目			
44 回目			
45 回目			

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.58

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美 敬員	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修			自宅 045-474-3741	
学年	1年・2年・3年			携帯 - -	
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>	
曜日・回数	曜日 30回 60時間	単位	携 帯	-	-
時 限	限 ~	2単位	E-mail	<a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>	
授業の概要と科目のねらい・到達目標		<p>歯科診療補助に関する知識と基本的技術を習得し、臨床の場に対応し、臨床の場に対応し得る能力を身に着ける。また、歯科診療の補助及び歯科診療の介助について理解し、その基本的知識を学ぶ。基本的技術においては顎模型、マネキン、相互実習の段階を経て習得する。「歯科診療補助Ⅰ(基礎知識・基本技術)」で学んだものを踏まえ、各治療内容に応じた適切な器材セッティング、材料の取り扱いについて留意事項を理解した上で歯科診療の補助に対応できる応用力を身につける。</p>			
授業計画・内容 (進度・予定)		備 考			
1回目	成形充填(レジン・セメント)				
2回目	修復物の研磨				
3回目	ラバーダム防湿法1				
4回目	ラバーダム防湿法2				
5回目	ラバーダム防湿法3				
6回目	ラバーダム防湿法4				
7回目	ラバーダム防湿法5				
8回目	ラバーダム防湿法相互実習1				
9回目	ラバーダム防湿法相互実習2				
10回目	ラバーダム防湿法相互実習3				
11回目	ラバーダム防湿法相互実習4				
12回目	ラバーダム防湿法相互実習5				
13回目	ラバーダム防湿法相互実習6				
14回目	エックス線撮影法1				
15回目	エックス線撮影法2				
評価方法		小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)				
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学				
その他					

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.57

授業科目名	歯科診療補助 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生専門学校 西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美	No.57 
16 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)1				
17 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)2				
18 回目	講義)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い1				
19 回目	実習)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い2(マネキン)				
20 回目	講義)ワックスについて1				
21 回目	講義/実習)各種材料における咬合採得法				
22 回目	講義)ラバーダム防湿法について1				
23 回目	実習)ラバーダム防湿法2				
24 回目	実習)ラバーダム防湿法3				
25 回目	実習)ラバーダム防湿法4				
26 回目	講義)口腔内撮影方法について1				
27 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習1				
28 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習2				
29 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習3				
30 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習4				
31 回目					
32 回目					
33 回目					
34 回目					
35 回目					
36 回目					
37 回目					
38 回目					
39 回目					
40 回目					
41 回目					
42 回目					
43 回目					
44 回目					
45 回目					

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.60

授業科目名	歯科診療補助Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 西条美和・大西みのり・五味法子・吉野里美 教員	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期			自宅 045-474-3741	
曜日・回数	曜日 回 時間	単位	携帯	- -	
時限	限 ~	2単位	E-mail	info@dental-hygienist.ac.jp	
授業の概要と科目のねらい・到達目標		「歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)」D学んだ歯科診療補助に関する知識とその基本的技術の反復練習を行い、臨床の場での対応能力についてさらに伸長させる。また歯科診療の補助及び歯科診療の介助についてのさらなる理解とその基本的知識を学ぶ。基本的技術では顎模型、マネキン、相互実習、の段階を経た習熟を行う。各家庭で学んだことを踏まえ、体的留意事項を理解し応用力を身につける。			
授業計画・内容 (進度・予定)		備考			
1回目	講義)各種隔離法/歯周パックの取り扱い1				
2回目	実習)各種隔離法/歯周パックの取り扱い2				
3回目	講義)暫間固定法 基礎知識				
4回目	実習)暫間固定法 マネキン実習				
5回目	講義)口腔外科器材の取り扱い(使用器材名称と用途)				
6回目	実習)口腔外科器材の取り扱い実践				
7回目	矯正歯科診療の流れ(使用器材の名称と用途)				
8回目	矯正歯科診療の流れ(ブラケット装着方法)				
9回目	矯正歯科診療の流れ(ブラケット撤去方法)				
10回目	個人トレー使用目的、材料の取り扱い1				
11回目	実習)個人トレー使用目的、材料の取り扱い2				
12回目	シリコーンゴム印象材による精密印象採得1				
13回目	実習)シリコーンゴム印象材による精密印象採得2				
14回目	実習)各種材用別咬合採得1(相互)				
15回目	実習)各種材用別咬合採得2(相互)				
評価方法		小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)				
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学				
その他					

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.1

授業科目名	臨床実習 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	必修 選択必修				
学年	2年				
学期	後期				
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日 158回	316時間	単位	携帯	- -
時 限	8時間	2単位	E-mail	info@dental-hygienist.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③インシナルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけて今後に生かしてもらおう。

【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。  
・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる

授業計画・内容 (進捗・予定)

備考

1回目	臨床実習オリエンテーション I	
2回目	医療人としての基本姿勢①身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
3回目	医療人としての基本姿勢②身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
4回目	医療人としての基本姿勢③身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
5回目	医療人としての基本姿勢④身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
6回目	医療人としての基本姿勢⑤身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
7回目	医療人としての基本姿勢⑥身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
8回目	医療人としての基本姿勢⑦身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
9回目	医療人としての基本姿勢⑧身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
10回目	医療人としての基本姿勢⑨身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
11回目	医療人としての基本姿勢⑩身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
12回目	医療人としての基本姿勢⑪身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
13回目	医療人としての基本姿勢⑫身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
14回目	医療人としての基本姿勢⑬身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
15回目	医療人としての基本姿勢⑭身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	

評価方法

知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。

教科書

教科書 : 「専門科目の教科書」

副読本・資料

参考書 : 「臨床実習帳」

その他

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.3

授業科目名	臨床実習Ⅰ	講義 <u>実技</u> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
46 回目	保存処置治療の知識・介助・理解①窩洞形成について				
47 回目	保存処置治療の知識・介助・理解②コンポジットレジン修復について				
48 回目	保存処置治療の知識・介助・理解③グラスアイオノマー修復について				
49 回目	保存処置治療の知識・介助・理解④インレー・アンレー合着について				
50 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑤印象採得				
51 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄				
52 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
53 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
54 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
55 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
56 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿				
57 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封				
58 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
59 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
60 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得				
61 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得				
62 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択				
63 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択				
64 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着				
65 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着				
66 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃				
67 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃				
68 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導				
69 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導				
70 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成				
71 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成				
72 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得				
73 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得				
74 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着				
75 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着				

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.4

授業科目名	臨床実習 I	講義 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実技</span> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
76 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成				
77 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成				
78 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得				
79 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得				
80 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装				
81 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装				
82 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得				
83 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得				
84 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学				
85 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助				
86 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)				
87 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置				
88 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法				
89 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填				
90 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導				
91 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助				
92 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布				
93 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導				
94 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解①矯正相談				
95 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解②資料採得				
96 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解③顎外固定装置作製・調整				
97 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着①				
98 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着②				
99 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着③				
100 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着④				
101 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着⑤				
102 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:エッジワイズ法について				
103 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:拡大装置				
104 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:舌側弧線装置				
105 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:保定装置				

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.5

授業科目名	臨床実習 I	講義 実技 演習	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 担当教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
106 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:口腔内写真			
107 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療			
108 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術			
109 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査			
110 回目	歯周治療の知識・介助・理解④歯周外科手術器具			
111 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑤歯周外科手術の準備・片付け			
112 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑥歯周外科/縫合用器具の取り扱いと介助			
113 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑦歯周包帯			
114 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑧手術後の洗浄と抜糸			
115 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑨咬合調整			
116 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑩暫間固定			
117 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑪スケーリング・ルートプレーニング			
118 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導			
119 回目	口腔外科の知識・介助・理解①初診見学(患者対応)			
120 回目	口腔外科の知識・介助・理解②初診見学(臨床診断)			
121 回目	口腔外科の知識・介助・理解③小手術の準備(術前問診)			
122 回目	口腔外科の知識・介助・理解④小手術の準備(患者の状態を観察)			
123 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤小手術の準備(バイタルサインの正常値及びチェック方法)			
124 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥小手術の準備(術式)			
125 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦小手術の準備(清潔域と不潔域)			
126 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧小手術の準備(感染防護の確認)			
127 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨小手術の準備(使用器材、器具の名称と用途)			
128 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩小手術の準備(器具・器材の準備)			
129 回目	口腔外科の知識・介助・理解①薬剤・麻酔剤の準備(麻酔に使用する薬剤・器具)			
130 回目	口腔外科の知識・介助・理解②薬剤・麻酔剤の準備(使用薬剤)			
131 回目	口腔外科の知識・介助・理解①患者急変時の対応①常備の救急薬剤			
132 回目	口腔外科の知識・介助・理解②急変時に使用するモニタリング機器			
133 回目	口腔外科の知識・介助・理解③AED			
134 回目	口腔外科の知識・介助・理解④適切な対応法			
135 回目	口腔外科の知識・介助・理解①治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(普通抜歯)			

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.6

授業科目名	臨床実習 I	講義 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実技</span> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
136 回目	口腔外科の知識・介助・理解②治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(難抜歯)			
137 回目	口腔外科の知識・介助・理解③治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(埋伏歯抜歯)			
138 回目	口腔外科の知識・介助・理解④治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(智歯周囲炎)			
139 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯肉膿瘍)			
140 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)			
141 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(舌小帯短縮術)			
142 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(上唇小帯過短症)			
143 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯の脱臼)			
144 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(骨折)			
145 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑪治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節脱臼)			
146 回目	口腔外科の知識・介助・理⑫治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘液種)			
147 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑬治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(ガマ種)			
148 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑭治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(エプーリス)			
149 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑮治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(唾液腺炎)			
150 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑯治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(唾石症)			
151 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑰治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(三叉神経痛)			
152 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑱治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯槽骨整形術)			
153 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑲治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎変形症)			
154 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑳治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(口唇口蓋裂)			
155 回目	口腔外科の知識・介助・理解㉑治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘膜疾患)			
156 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明			
157 回目	口腔外科の知識・介助・理解①手術後の洗浄と抜糸(器具の準備)			
158 回目	口腔外科の知識・介助・理解②手術後の洗浄と抜糸(治療の介助)			



# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.1

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-8	
分類	<b>必修</b> 選択必修				
学年	3年				
学期	前期				
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日 315回	630時間	単位	携 帯	- -
時 限	8時間		2単位	E-mail	<a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③イニシャルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけ今後に生かしてもらう。

【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。

・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる

### 授業計画・内容 (進度・予定)

	授業計画・内容 (進度・予定)	備 考
1回目	臨床実習オリエンテーションⅠ	
2回目	医療人としての基本姿勢①身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
3回目	医療人としての基本姿勢②身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
4回目	医療人としての基本姿勢③身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
5回目	医療人としての基本姿勢④身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
6回目	医療人としての基本姿勢⑤身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
7回目	医療人としての基本姿勢⑥身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
8回目	医療人としての基本姿勢⑦身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
9回目	医療人としての基本姿勢⑧身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
10回目	医療人としての基本姿勢⑨身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
11回目	医療人としての基本姿勢⑩身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
12回目	医療人としての基本姿勢⑪身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
13回目	医療人としての基本姿勢⑫身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
14回目	医療人としての基本姿勢⑬身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
15回目	医療人としての基本姿勢⑭身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	

### 評価方法

知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。

### 教科書

教科書：「専門科目の教科書」

### 副読本・資料

参考書：「臨床実習帳」

### その他

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.3

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員 新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
46 回目	エックス線写真撮影①防護方法			
47 回目	エックス線写真撮影①防護方法			
48 回目	エックス線写真撮影②検査目的			
49 回目	エックス線写真撮影②検査目的			
50 回目	エックス線写真撮影③咬合法撮影法			
51 回目	エックス線写真撮影③咬合法撮影法			
52 回目	エックス線写真撮影④咬翼法撮影			
53 回目	エックス線写真撮影④咬翼法撮影			
54 回目	エックス線写真撮影⑤パノラマエックス線撮影			
55 回目	エックス線写真撮影⑤パノラマエックス線撮影			
56 回目	エックス線写真撮影⑥頭部エックス線写真規格撮影法			
57 回目	エックス線写真撮影⑥頭部エックス線写真規格撮影法			
58 回目	エックス線写真の現像と管理①フィルム手現像方法			
59 回目	エックス線写真の現像と管理①フィルム手現像方法			
60 回目	エックス線写真の現像と管理②インスタント現像方法			
61 回目	エックス線写真の現像と管理②インスタント現像方法			
62 回目	エックス線写真の現像と管理③自動現像方法			
63 回目	エックス線写真の現像と管理③自動現像方法			
64 回目	材料の取り扱い①模型作製:石膏の種類と混水比			
65 回目	材料の取り扱い②模型作製:研究用模型(スタディーモデル)の目的			
66 回目	材料の取り扱い③模型作製:作業用模型の目的			
67 回目	材料の取り扱い④模型作製:アルジネート印象材の特徴、練和方法			
68 回目	材料の取り扱い⑤個人トレー・個歯トレー:目的			
69 回目	材料の取り扱い⑥個人トレー・個歯トレー:指示された器具、器材の選択			
70 回目	材料の取り扱い⑦セメントの取り扱い:各種合着材の成分、練和方法			
71 回目	材料の取り扱い⑧セメントの取り扱い:各種接着材の成分、前処理の準備、練和方法			
72 回目	共同作業①患者の誘導			
73 回目	共同作業①患者の誘導			
74 回目	共同作業③ライティング操作			
75 回目	共同作業③ライティング操作			

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.4

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
76 回目	麻酔①局所麻酔の知識と取り扱い			
77 回目	麻酔①局所麻酔の知識と取り扱い			
78 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導①フッ素の局所応用			
79 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導①フッ素の局所応用			
80 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導②小窩裂溝填塞法			
81 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導②小窩裂溝填塞法			
82 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導③口腔内検査			
83 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導③口腔内検査			
84 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導④スケーリング			
85 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導④スケーリング			
86 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑤歯面研磨			
87 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑤歯面研磨			
88 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑥保健指導			
89 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑥保健指導			
90 回目	保存処置治療の知識・介助・理解①窩洞形成について			
91 回目	保存処置治療の知識・介助・理解①窩洞形成について			
92 回目	保存処置治療の知識・介助・理解①窩洞形成について			
93 回目	保存処置治療の知識・介助・理解②コンポジットレジン修復について			
94 回目	保存処置治療の知識・介助・理解②コンポジットレジン修復について			
95 回目	保存処置治療の知識・介助・理解②コンポジットレジン修復について			
96 回目	保存処置治療の知識・介助・理解③グラスアイオノマー修復について			
97 回目	保存処置治療の知識・介助・理解③グラスアイオノマー修復について			
98 回目	保存処置治療の知識・介助・理解③グラスアイオノマー修復について			
99 回目	保存処置治療の知識・介助・理解④インレー・アンレー合着について			
100 回目	保存処置治療の知識・介助・理解④インレー・アンレー合着について			
101 回目	保存処置治療の知識・介助・理解④インレー・アンレー合着について			
102 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑤印象採得			
103 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑤印象採得			
104 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑤印象採得			
105 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄			

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.5

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
106 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄				
107 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄				
108 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄				
109 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄				
110 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
111 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
112 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
113 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療				
114 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
115 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
116 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
117 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填				
118 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿				
119 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿				
120 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿				
121 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿				
122 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封				
123 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封				
124 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封				
125 回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封				
126 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
127 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
128 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
129 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
130 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
131 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
132 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
133 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得				
134 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得				
135 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得				

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.6

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
136 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得			
137 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得			
138 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択			
139 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択			
140 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択			
141 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択			
142 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着			
143 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着			
144 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着			
145 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着			
146 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃			
147 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃			
148 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃			
149 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃			
150 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導			
151 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導			
152 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導			
153 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導			
154 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成			
155 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成			
156 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成			
157 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成			
158 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得			
159 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得			
160 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得			
161 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得			
162 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着			
163 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着			
164 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着			
165 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着			



# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.7

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 <u>実技</u> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
166 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成			
167 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成			
168 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成			
169 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成			
170 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得			
171 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得			
172 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得			
173 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得			
174 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装			
175 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装			
176 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装			
177 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装			
178 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得			
179 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得			
180 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得			
181 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得			
182 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学			
183 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学			
184 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学			
185 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助			
186 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助			
187 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助			
188 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)			
189 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)			
190 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)			
191 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置			
192 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置			
193 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置			
194 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法			
195 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法			



# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.8

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
196 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法			
197 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填			
198 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填			
199 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填			
200 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導			
201 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導			
202 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導			
203 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助			
204 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助			
205 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助			
206 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布			
207 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布			
208 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布			
209 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導			
210 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導			
211 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導			
212 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解①矯正相談			
213 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解①矯正相談			
214 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解②資料採得			
215 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解②資料採得			
216 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解③顎外固定装置作製・調整			
217 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解③顎外固定装置作製・調整			
218 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着①			
219 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着①			
220 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:エッジワイズ法について			
221 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:エッジワイズ法について			
222 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:拡大装置			
223 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:拡大装置			
224 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:舌側弧線装置			
225 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:舌側弧線装置			



# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.9

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
226 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解・保定装置				
227 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解・保定装置				
228 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解・口腔内写真				
229 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解・口腔内写真				
230 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療				
231 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療				
232 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療				
233 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:歯周ポケット搔把術				
234 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:新付着術				
235 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:歯肉切除術				
236 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:フラップ術				
237 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:歯周形成外科手術				
238 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術:再生療法				
239 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査:目的				
240 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査:口腔内写真の撮影介助方法				
241 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査:印象採得方法				
242 回目	歯周治療の知識・介助・理解④歯周外科手術器具:手術の準備、片付け				
243 回目	歯周治療の知識・介助・理解④歯周外科手術器具:替え刃メスの取り付け、麻酔の準備				
244 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑥歯周外科/縫合用器具の取り扱いと介助				
245 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑥歯周外科/縫合用器具の取り扱いと介助				
246 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑦歯周包帯:器材準備				
247 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑦歯周包帯:治療手順				
248 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑧手術後の洗浄と抜糸:器材準備				
249 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑧手術後の洗浄と抜糸:手術後の介助				
250 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑨咬合調整:器材準備				
251 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑨咬合調整:治療内容の把握				
252 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑩暫間固定:器材準備				
253 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑩暫間固定:治療内容の把握				
254 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑪スケーリング・ルートプレーニング:器材準備				
255 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑪スケーリング・ルートプレーニング:施術の方法				

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.10

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美
256 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:患者の把握			
257 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:指導内容の把握			
258 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:保健指導について			
259 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
260 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
261 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
262 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
263 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
264 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導:ブラッシング指導			
265 回目	口腔外科の知識・介助・理解①初診見学(患者対応)			
266 回目	口腔外科の知識・介助・理解②初診見学(臨床診断)			
267 回目	口腔外科の知識・介助・理解③小手術の準備(術前問診)			
268 回目	口腔外科の知識・介助・理解④小手術の準備(患者の状態を観察)			
269 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤小手術の準備(バイタルサインの正常値及びチェック方法)			
270 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥小手術の準備(術式)			
271 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦小手術の準備(清潔域と不潔域)			
272 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧小手術の準備(感染防護の確認)			
273 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨小手術の準備(使用器材、器具の名称と用途)			
274 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩小手術の準備(器具・器材の準備)			
275 回目	口腔外科の知識・介助・理解①薬剤・麻酔剤の準備(麻酔に使用する薬剤・器具)			
276 回目	口腔外科の知識・介助・理解②薬剤・麻酔剤の準備(使用薬剤)			
277 回目	口腔外科の知識・介助・理解①患者急変時の対応①常備の救急薬剤			
278 回目	口腔外科の知識・介助・理解②急変時に使用するモニタリング機器			
279 回目	口腔外科の知識・介助・理解③AED			
280 回目	口腔外科の知識・介助・理解④適切な対応法			
281 回目	口腔外科の知識・介助・理解①治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(普通抜歯)			
282 回目	口腔外科の知識・介助・理解②治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(難抜歯)			
283 回目	口腔外科の知識・介助・理解②治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(難抜歯)			
284 回目	口腔外科の知識・介助・理解③治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(埋伏歯抜歯)			
285 回目	口腔外科の知識・介助・理解③治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(埋伏歯抜歯)			

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.11

授業科目名	臨床実習Ⅱ	<small>講義</small> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">実技</span> <small>演習</small>	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
286 回目	口腔外科の知識・介助・理解④治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(智歯周囲炎)				
287 回目	口腔外科の知識・介助・理解④治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(智歯周囲炎)				
288 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯肉膿瘍)				
289 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯肉膿瘍)				
290 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)				
291 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)				
292 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)				
293 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(舌小帯短縮術)				
294 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(上唇小帯過短症)				
295 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯の脱臼)				
296 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(骨折)				
297 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑪治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節脱臼)				
298 回目	口腔外科の知識・介助・理⑫治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘液種)				
299 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑬治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(ガマ種)				
300 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑭治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(エプーリス)				
301 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑮治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(唾液腺炎)				
302 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑯治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(唾石症)				
303 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑰治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(三叉神経痛)				
304 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑱治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯槽骨整形術)				
305 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑲治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎変形症)				
306 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑳治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(口唇口蓋裂)				
307 回目	口腔外科の知識・介助・理解㉑治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘膜疾患)				
308 回目	口腔外科の知識・介助・理解㉒治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘膜疾患)				
309 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明				
310 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明				
311 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明				
312 回目	口腔外科の知識・介助・理解①手術後の洗浄と抜糸(器具の準備)				
313 回目	口腔外科の知識・介助・理解①手術後の洗浄と抜糸(器具の準備)				
314 回目	口腔外科の知識・介助・理解②手術後の洗浄と抜糸(治療の介助)				
315 回目	口腔外科の知識・介助・理解②手術後の洗浄と抜糸(治療の介助)				

# 教授要綱 シラバス

成 31 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
授業コード			連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修				
学年	3年				
学期	前期 後期				自宅 045-474-3741
曜日・回数	曜日 60回 120時間		単位	携帯 - -	
時限	限 ~		2単位	E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>	

## 授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士教育の中心とされてきた教授方法は、教授された内容の暗記や訓練によって専門領域の習得に多くの時間が置かれていた。しかし大きく変動する社会的要請や歯科医療の進歩に伴う歯科保健指導や予防処置の変化に対応するには、科学的根拠に基づいた情報の提供が必要だ。そこで、自主的な研究の進め方を体得することによって、専門職として求められる問題解決能力、論理的思考、批判的思考などの総合的な能力の形成・向上を目的とする。

【目標】・既習した知識を基に、興味や関心に沿った研究テーマを設定できる。・文献検索ができ、必要な資料を収集できる。・研究論文を発表できる  
・研究の実施計画を立てることができる。・研究計画に基づいて研究方法を選択できる。  
・実験、調査等の研究を実施できる。・研究結果を整理・分析できる。  
・結果分析に基づき、あらたな課題を抽出し提起できる。・論文にまとめる過程を習得する。・研究論文を発表できる

## 授業計画・内容 (進捗・予定)

	授業計画・内容	備考
1 回目	グループ作成	
2 回目	研究テーマ作成	
3 回目	テーマの研究1	
4 回目	テーマの研究2	
5 回目	テーマの研究3	
6 回目	テーマの研究4	
7 回目	テーマの研究5	
8 回目	テーマの研究6	
9 回目	テーマの研究7	
10 回目	テーマの研究8	
11 回目	テーマの研究9	
12 回目	テーマの研究10	
13 回目	テーマの研究11	
14 回目	テーマの研究12	
15 回目	テーマの研究13	

評価方法	①研究計画書15% ②論文50% ③口頭試問30% ④取り組む姿勢、提出期限の遵守5%⑤発表態度・内容
教科書	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本
副読本・資料	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本
その他	【準備】1)卒業研究オリエンテーション後は自分の研究テーマを検討しておく。2)担当教員と相談し、各自の研究計画に沿ってすすめること。3)卒業研究に関する提出物が未提出または遅れた際は、最終成績より減点になる場合があるので注意する。

教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.2

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員 新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
16 回目	テーマの研究14			
17 回目	テーマの研究15			
18 回目	論文作成1			
19 回目	論文作成2			
20 回目	論文作成3			
21 回目	論文作成4			
22 回目	論文作成5			
23 回目	論文作成6			
24 回目	論文作成7			
25 回目	論文作成8			
26 回目	論文作成9			
27 回目	論文作成10			
28 回目	論文作成11			
29 回目	論文作成12			
30 回目	論文作成13			
31 回目	論文作成14			
32 回目	論文作成15			
33 回目	研究発表内容のパワーポイント作製1			
34 回目	研究発表内容のパワーポイント作製2			
35 回目	研究発表内容のパワーポイント作製3			
36 回目	研究発表内容のパワーポイント作製4			
37 回目	研究発表内容のパワーポイント作製5			
38 回目	研究発表内容のパワーポイント作製6			
39 回目	研究発表内容のパワーポイント作製7			
40 回目	研究発表内容のパワーポイント作製8			
41 回目	研究発表内容のパワーポイント作製9			
42 回目	研究発表内容のパワーポイント作製10			
43 回目	研究発表内容のパワーポイント作製11			
44 回目	研究発表内容のパワーポイント作製12			
45 回目	研究発表内容のパワーポイント作製13			

# 教授要綱 シラバス

平成 31年 3月 3日

No.3

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士専門学校 教員 大西みのり・斉藤由梨・五味法子・吉野里美	
46 回目	研究発表内容のパワーポイント作製14				
47 回目	研究発表内容のパワーポイント作製15				
48 回目	研究発表 練習1				
49 回目	研究発表 練習2				
50 回目	研究発表 練習3				
51 回目	研究発表 練習4				
52 回目	研究発表 練習5				
53 回目	研究発表 予行練習1				
54 回目	研究発表 予行練習2				
55 回目	研究発表 予行練習3				
56 回目	研究発表 予行練習4				
57 回目	研究発表 予行練習5				
58 回目	研究発表 予行練習6				
59 回目	研究発表 予行練習7				
60 回目	研究発表				
61 回目					
62 回目					
63 回目					
64 回目					
65 回目					
66 回目					
67 回目					
68 回目					
69 回目					
70 回目					
71 回目					
72 回目					
73 回目					
74 回目					
75 回目					